

沖縄県

# 歯科医師会誌

*The Journal of the Okinawa Dental Association*

2025.December Vol 4



## Topics

★ 歯科医師会組織図・役員分布図

★ 委員活動紹介

★ 令和7年度(第1回)臨時代議員会

副会長 渡慶次 彰

★ 衛生士学校報告

★ 第77回九州歯科医学大会

★ 令和7年度 デンタルファミリー釣り大会

あらかき歯科クリニック 新垣善章



(一社)沖縄県歯科医師会

表紙写真

島根県足立美術館

撮 影 者

米 須 幸 子

# content

□ 歯科医師会組織図・役員分布図	3
□ 委員活動紹介	4
● 県歯報告 ●	
・ 令和7年度（第1回）臨時代議員会	副会長 渡慶次 彰 …11
● 県外報告 ●	
・ 令和7年度 第1回九州各県歯科医師会専務理事会	副会長 渡慶次 彰 …13
・ 令和7年度 九州地区学校歯科医役員連絡協議会	学校歯科担当理事 玉 城 齊 …14
・ 令和7年度 九州各県学術担当者会	学術担当理事 崎 濱 秀 海 …16
・ 令和7年度 九州各県歯科医師会社保担当者会議報告書	社会保険担当理事 上 原 泰 通 …17
・ 令和7年度 九州各県歯科医師会医療管理担当者会	常務理事 邊土名 朝 憲 …18
・ 令和7年度 九州各県地域保健理担当者会	地域保健委員会理事 屋 嘉 智 彦 …19
・ 九州各県広報担当者会議会	広報委員 下 所 由美子 …23
・ 令和7年度 九州地区学校歯科医療安全対策担当者会	常務理事 邊土名 朝 憲 …25
● 県内報告 ●	
・ アンチ・ドーピング研修会	学術委員 新 城 美由紀 …26
★ 衛生士学校報告	
・ オープンキャンパス	沖縄歯科衛生士学校 …27
・ 令和7年度 第12回 就職説明会を終えて	沖縄歯科衛生士学校 専任教員 上 原 生 子 …29
・ 令和7年度 講師懇談会	沖縄歯科衛生士学校 専任教員 上 原 生 子 …31
・ 物価高に対する食の支援事業	沖縄歯科衛生士学校 専任教員 上 原 生 子 …32
★ 第77回九州歯科医学大会	
・ 野球大会	沖縄県歯科医師会野球部主務 佐久本 圭 …33
・ 厚生ボウリング大会	ボウリング部 部長 中 村 亨 …34
・ テニス大会 報告	テニス部 長 堂 芳 子 …35
・ 剣道大会	剣道部 平 良 恵 信 …37
□ 令和7年度 デンタルファミリー釣り大会	あらかき歯科クリニック 新 垣 善 章 …38
□ 会員プロフィール	39
□ 職員紹介	40
□ 新聞コラム	41
□ 地方紙だより	43
□ 理事会報告	48
□ 編集後記	55
□ 8020達成者認定証の発行について	56
□ 会員動向	58
□ 国保だより	59

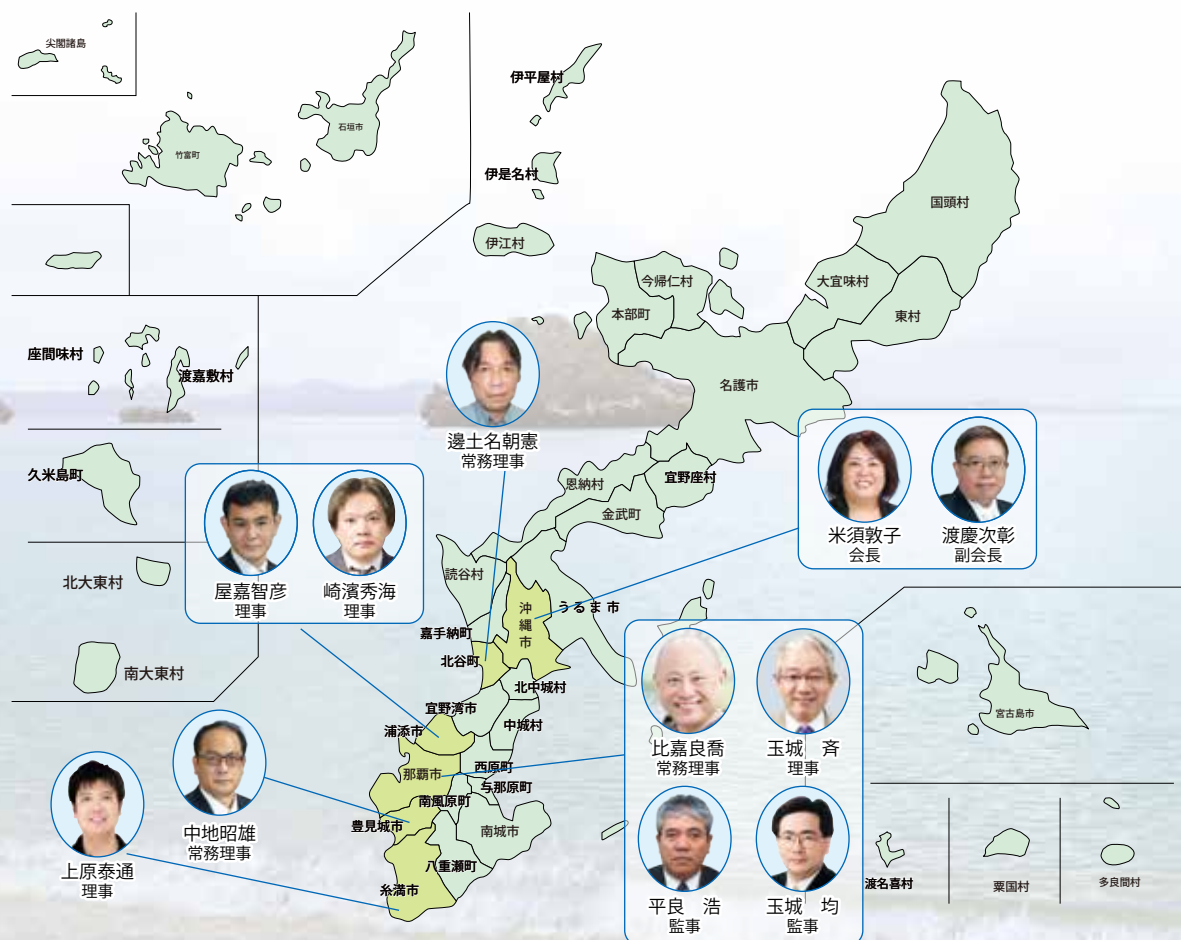
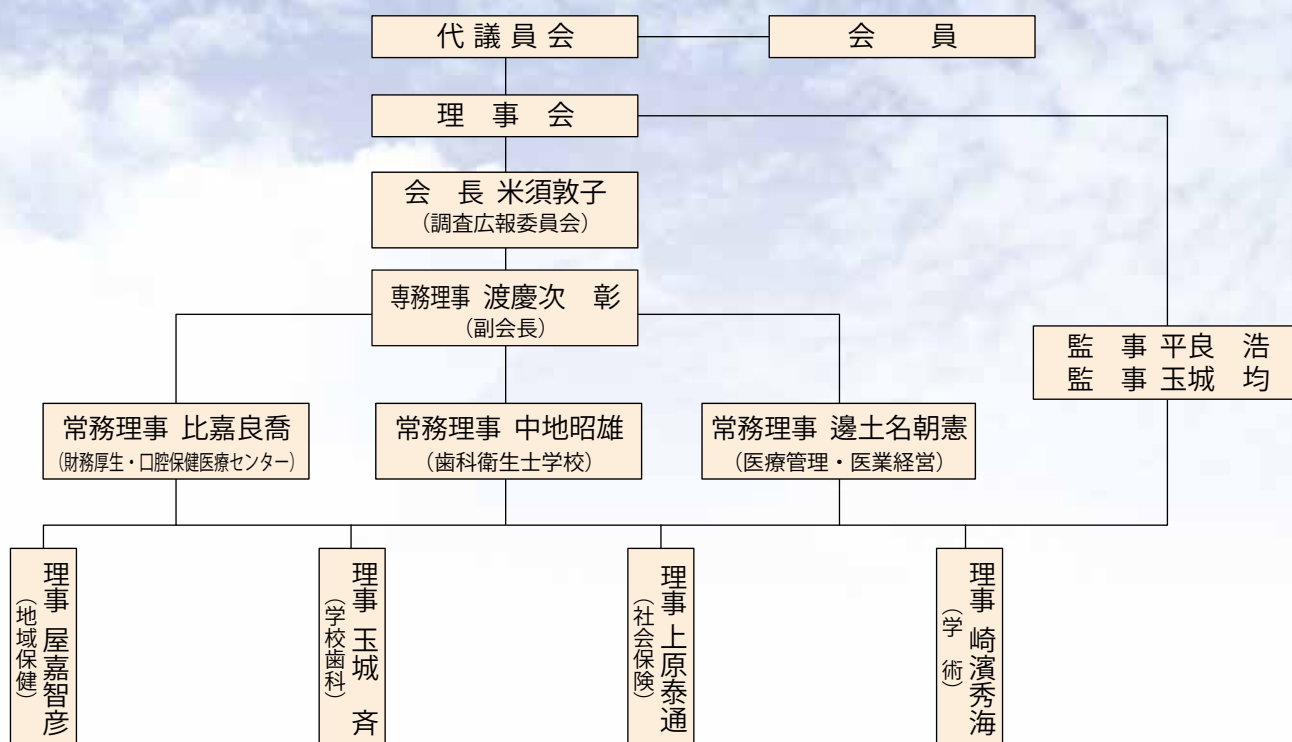




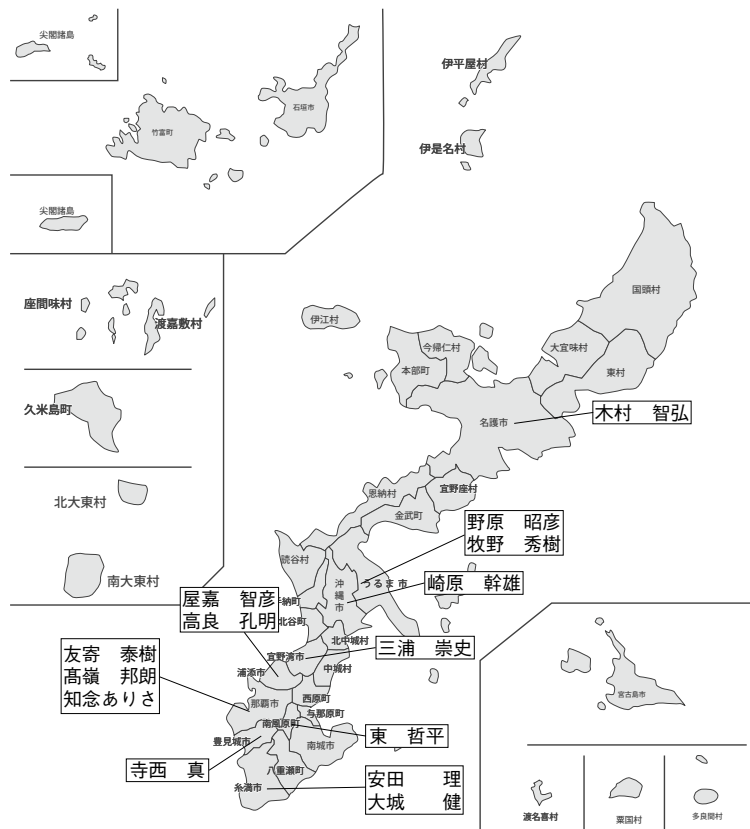
## 「情報をできるだけ早く届け、風通しのよい開かれた歯科医師会を目指す!!」

令和7年度 多くの会員の声を届け、会の目的に沿った運営を実行する役割を担って働く先生方の役職・名前・地区・活動内容を掲載紹介致します。

沖縄県歯科医師会が県民に寄り添える歯科医療を提供できますよう、エールを送っていただき、さらなる支援・ご協力を宜しくお願い致します。



## ★地域保健委員会★



## ★地域保健委員会

担当理事 屋嘉 智彦  
 委員長 木村 智弘  
 委員長 友寄 泰樹  
 委員 野原 昭彦／崎原 幹雄  
 高良 孔明／安田 理  
 高嶺 邦朗／寺西 真  
 知念ありさ／三浦 崇史  
 東 哲平／大城 健  
 オブザーバー 牧野 秀樹

### 委員会事業計画

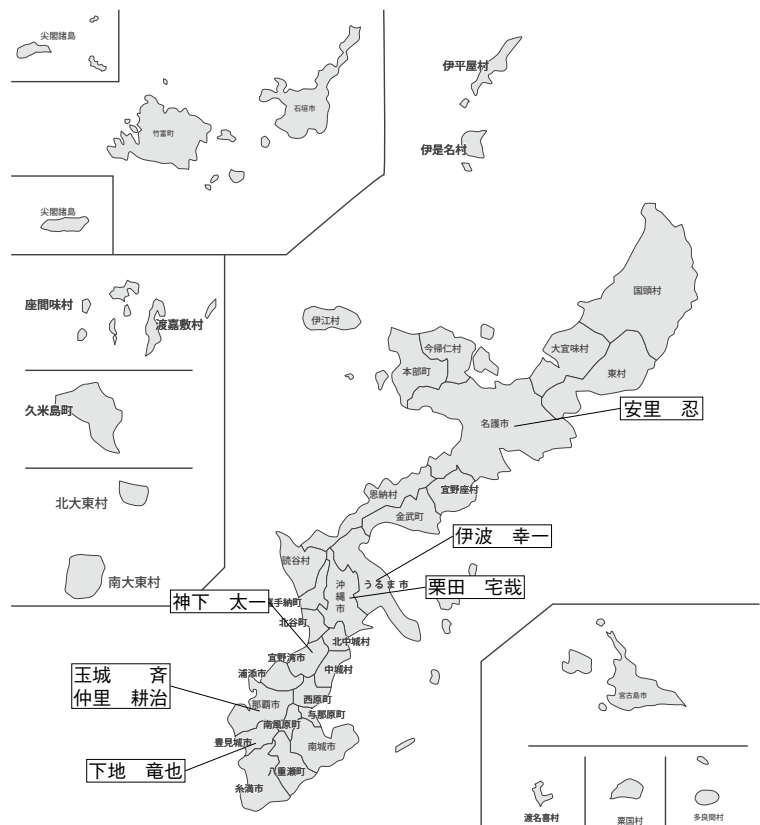
#### 地域保健関係

1. 介護保健事業  
会員を対象とした事業の策定
2. 地域保健事業  
フッ化物洗口、糖尿病等連携、関連企業との共同事業
3. 健診事業  
事業所・グループホーム・後期高齢者の各健診事業
4. ICTを活用した口腔保健活動
5. 訪問歯科診療支援
6. 九州各県地域保健担当者会議（在宅歯科診療所関係）参加

## ★学校歯科委員会

担当理事 玉城 斉  
 委員長 伊波 幸一  
 副委員長 神下 太一  
 副委員長 仲里 耕治  
 委員 安里 忍／栗田 宅哉  
 下地 竜也

## ★学校歯科委員会★



### 委員会事業計画

1. 県教育委員会、九州地区学校歯科組織、日本学校歯科医会との連携強化
2. 全国大会への参加
3. 九州地区学校歯科医会役員連絡協議会参加
4. 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールの開催（小・中・特）
5. 離島の図画ポスター表彰者への支援
6. 全国小学校歯みがき大会への参加校推進  
学校歯科保健研修会の開催（八重山地区）

## ★広報委員会★

## ★広報委員会

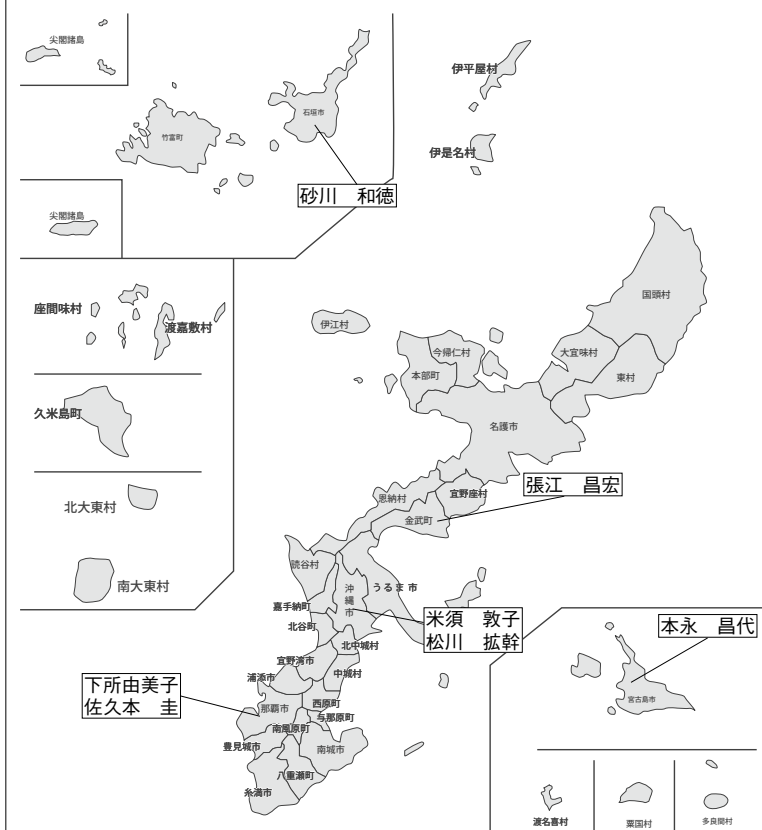
担当理事 米須 敦子

委員長 下所由美子

副委員長 張江 昌宏

委員 砂川 和徳／本永 昌代

佐久本 圭／松川 拡幹



## 委員会事業計画

1. 会誌の発行  
会誌発行について（ペーパーレス化）
2. ホームページの運営と内容の充実
  - ①県民向け
  - ②会員専用ページの充実
  - ③日歯ホームページとの連携について
3. SNS 活用（インスタ、フェイスブックなど）
4. 対外PR活動（新聞、ラジオ、テレビ等）
5. 報道各社との連携・強化・懇談会開催

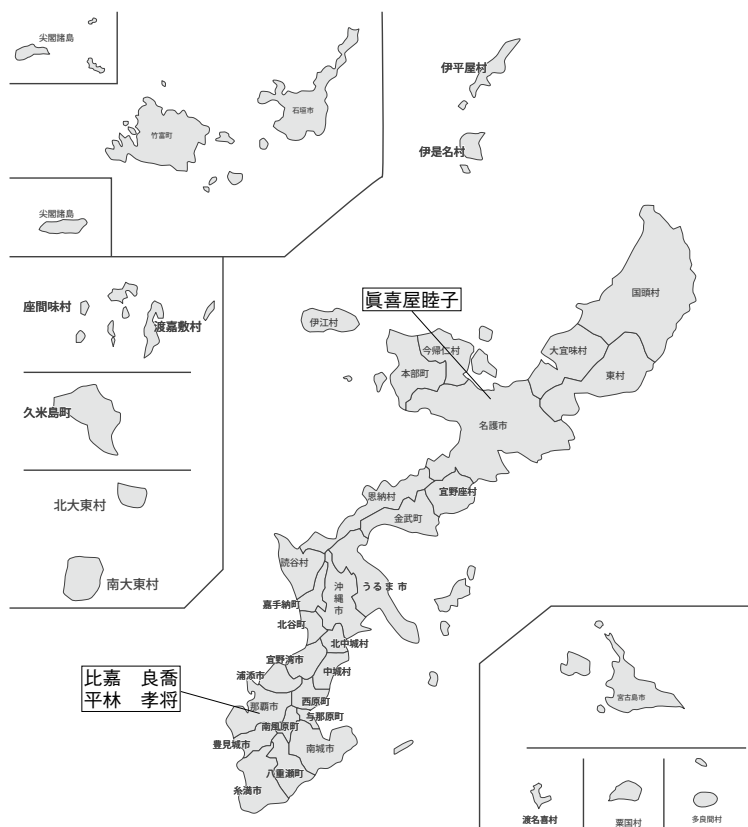
## ★財務厚生委員会

担当理事 比嘉 良喬

委員長 眞喜屋睦子

委員 平林 孝将

## ★財務厚生委員会★



## 委員会事業計画

1. 各会計の予算・実績の管理
2. 財産管理の強化
3. 会計処理電算化システム（クラウド導入）  
の効率の活用
4. 総務との連携強化

## ★学術委員会★

## ★学術委員会

担当理事 崎濱 秀海

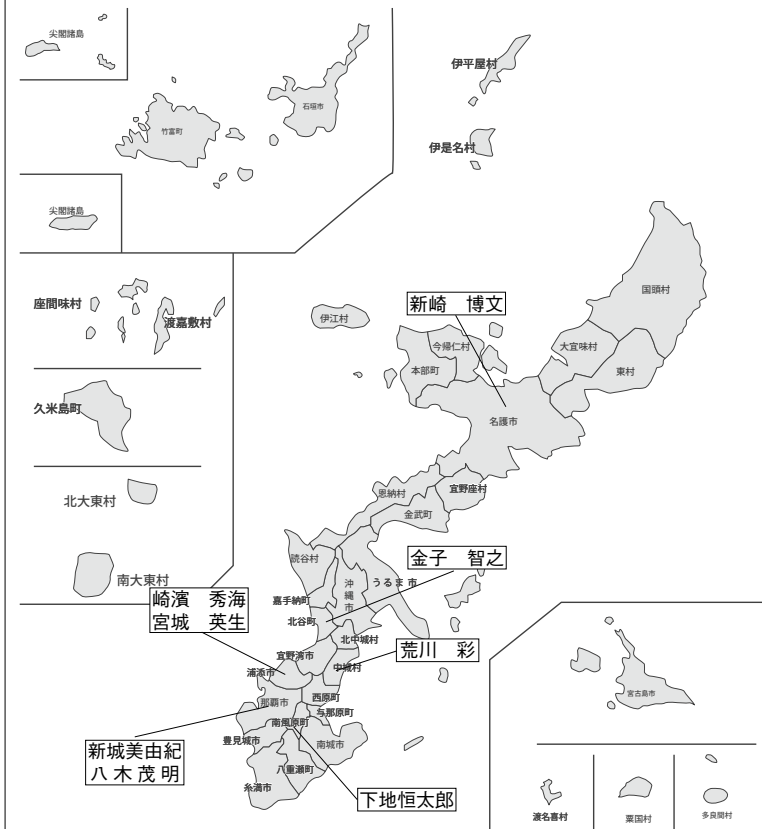
委員長 新城美由紀

副委員長 宮城 英生

委員 新崎 博文／金子 智之

下地恒太郎／八木 茂明

荒川 彩



### 委員会事業計画

1. 公衆衛生事業の実施
2. 沖縄県歯科医学会の開催
3. 学術講演会の開催
4. スポーツ歯科関係事業の実施
5. 歯科医療従事者技術向上研修会の開催
6. 歯科衛生士復職支援事業の実施
7. 全国共通がん医科歯科連携講習会開催

## ★保険委員会

担当理事 上原 泰通

委員長 渥美 智仁

委員 座覇 周平／垣花 賢

仲村 将健／屋宜 宣寿

栗國 弘誉／金城 尚典

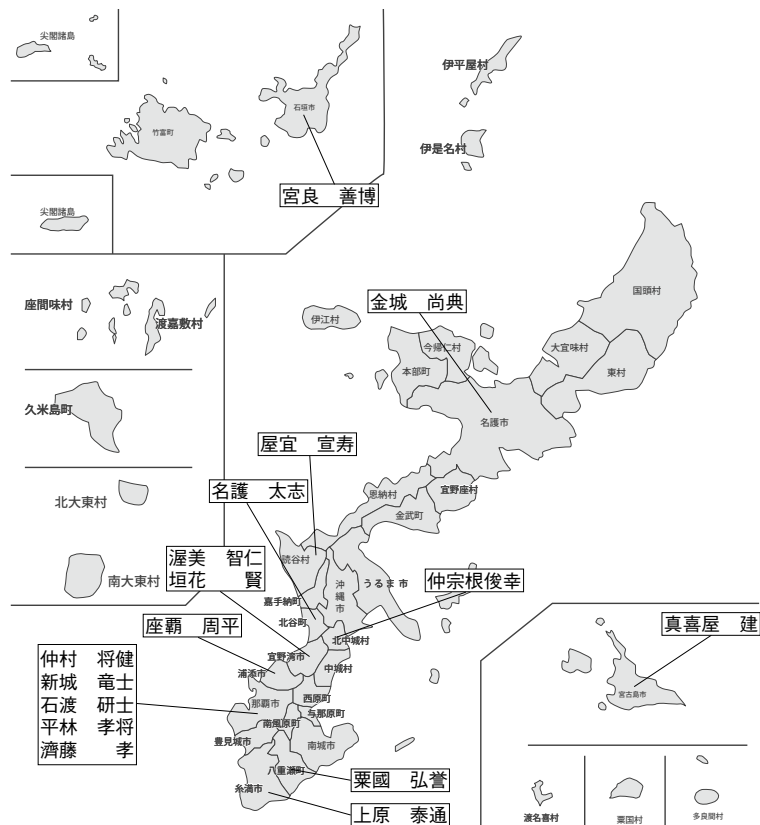
新城 竜士／名護 太志

宮良 善博／真喜屋 建

石渡 研士／平林 孝将

アドバイザー 濟藤 孝／仲宗根敏幸

## ★保険委員会★



### 委員会事業計画

1. 医療保険に関する研修の推進
2. 医療保険制度、保険診療に関する講習会
3. 行政指導への対応強化
4. 関係官庁・団体及び両審査会との連携強化（九州厚生局沖縄事務所、県国民健康保険課、県歯科医師会の歯科連絡会議等）
5. 日歯・九州各県社保委員会との連携強化
6. 会員指導の充実・強化
7. 各地区における社保研修会
8. 保険だよりの発刊（カノープス）
9. 点数改定の情報収集

## ★医療管理委員会★

## ★医療管理委員会

担当理事 邊土名朝憲

委員長 長嶺義一郎

委員 熊谷 徹／梅村 誠

加藤 進作／池村 直也

砂川 明穂

アドバイザー 城間 吉弘／又吉 亮

仲宗根敏幸

## 委員会事業計画

1. 歯科医療安全対策の強化
  - ①医療事故、苦情への対応と処理及び会員への情報提供および歯科医学会での事例報告
  - ②医療安全指針の推進
  - ③感染症対策の推進
2. 医療等を含めた相談窓口の設置、運営、労務管理等の相談
3. 医療廃棄物の適正処理の推進
4. 対外事業（総合訓練等）への参加協力
5. 医療安全対策講習会
6. 災害支援活動推進に係る事業
7. 九州各県医療管理担当学会議参加
8. 九州各県歯科医療安全対策担当学会議参加
9. 沖縄県、県警、海保、琉大、医師会との死因究明等推進協議会 身元不明者捜査への協力

## ★医業経営委員会

担当理事 邊土名朝憲

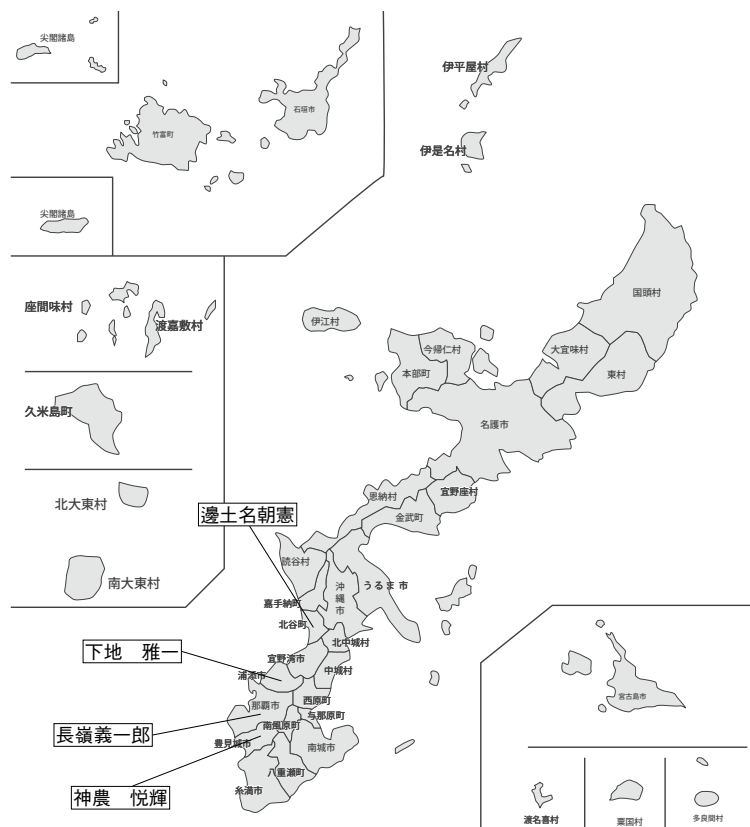
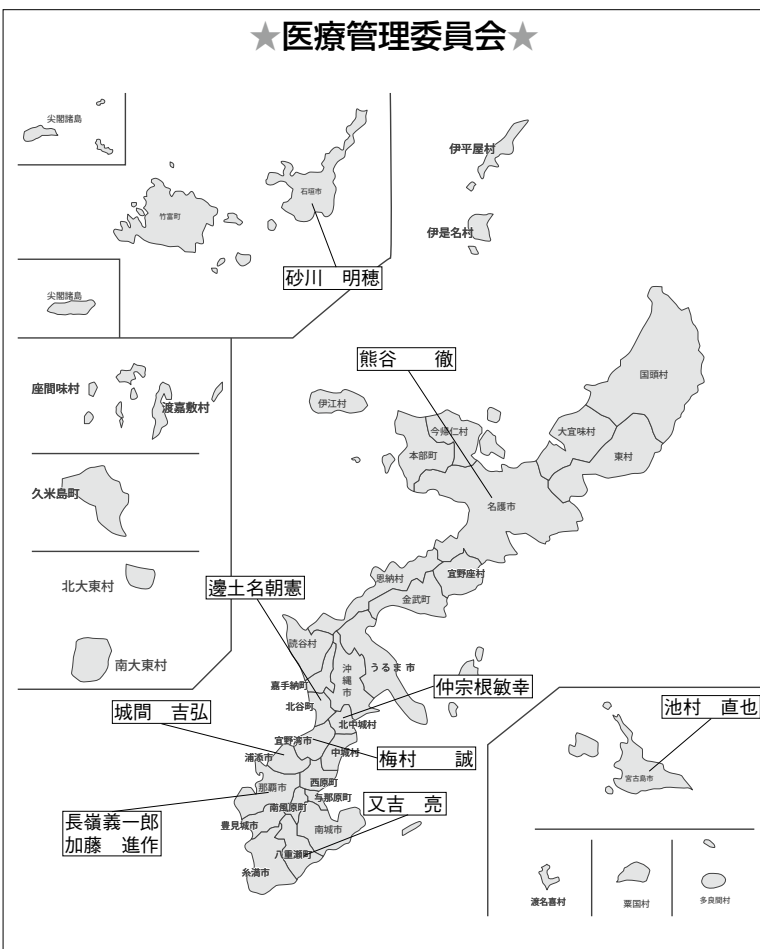
委員長 長嶺義一郎

委員 下地 雅一／神農 悦輝

## ★医業経営委員会★

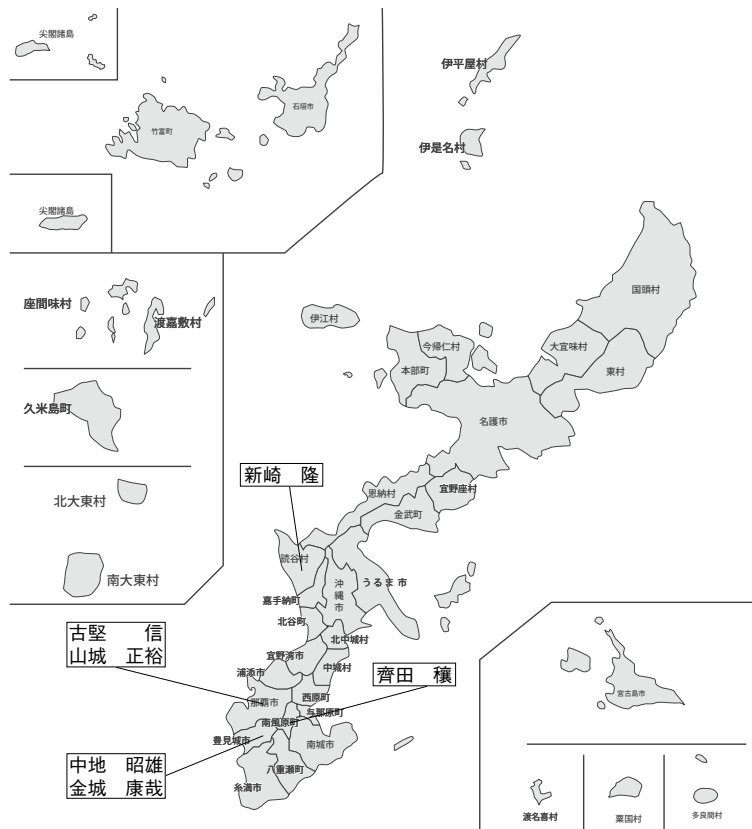
## 委員会事業計画

1. 医業経営セミナーの開催
2. 医業経営の活性化のための相談窓口の設置、運営
3. 医院承継システムの実施
4. 歯科助手資格認定講習会の開催





## ★沖縄歯科衛生士学校運営委員会★



## ★沖縄歯科衛生士学校運営委員会

担当理事 中地 昭雄  
委員長 齊田 穰  
副委員長 金城 康哉  
委員 古堅 信／新崎 隆  
山城 正裕

### 委員会事業計画

1. 学生募集の強化  
高等学校訪問、進学相談会参加、総合型選抜
2. 広報活動の充実  
ホームページの充実、SNSの活用  
歯科医師会会誌への掲載
3. 教育の充実  
臨地・臨床実習の充実  
国家試験対策の強化  
教職員の研修参加
4. 教育施設の充実
5. 学校運営の充実  
教職員の確保・育成

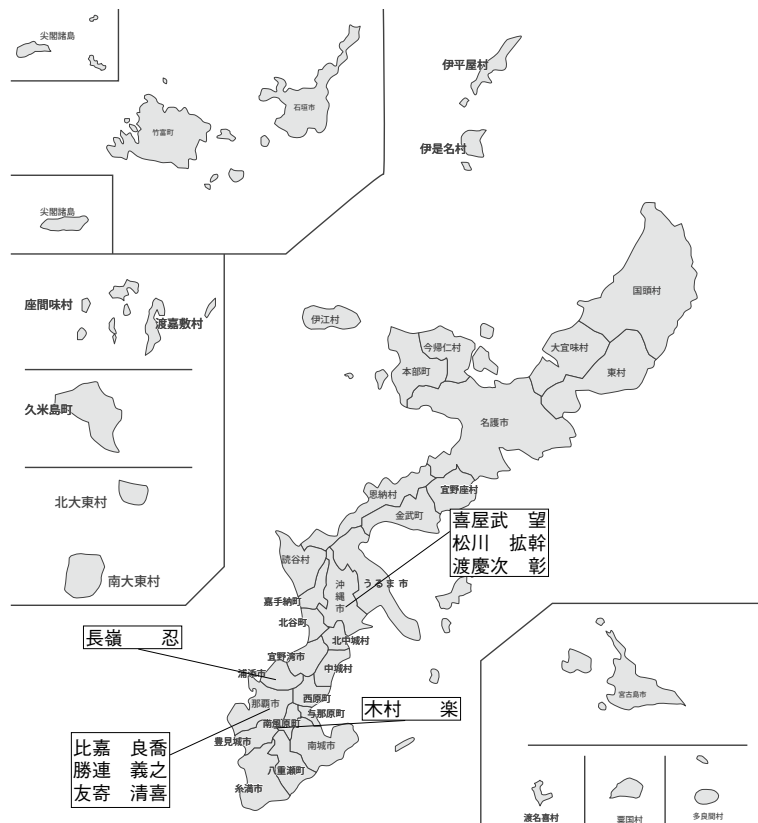
## ★口腔保健医療センター運営委員会

担当理事 比嘉 良喬  
委員長 勝連 義之  
副委員長 喜屋武 望  
委員 長嶺 忍／友寄 清喜  
松川 拓幹  
オブザーバー 渡慶次 彰／木村 楽

### 委員会事業計画

1. 障害者歯科医療の充実
  - ①専任歯科医師・協力医による診療及びセンター運営の充実
  - ②専任・センター協力医に対する研修
  - ③摂食機能療法への取組み
  - ④全身麻酔下歯科治療の充実
  - ⑤研修会および健診・保健指導の充実
  - ⑥心身障害児（者）歯科診療拡充事業
  - ⑦二次医療機関としての医療的ケア児および通院困難な障害児（者）への訪問歯科診療に向けての取組み
2. 障害者歯科医療の研修機関としての充実
  - ①障害者歯科地域協力医育成の継続
  - ②日本障害者歯科学会認定医・認定歯科衛生士取得のための取組み
3. 地域や各障害者関連団体とのネットワークづくり
  - ①沖縄県歯科SUN会議の充実
  - ②障害者歯科普及啓発を目的とした研修会等の開催
  - ③障害者歯科アクティブネットワーク九州参加
4. 『ねんぼう』の発刊
5. 九州各県地域保健担当者会議（障害者歯科関連）参加
6. 障害児者歯科保健対策支援事業

## ★口腔保健医療センター運営委員会★





## 各地区役員一覧表

北部地区歯科医師会 (令和7年7月1日～令和9年6月30日)		
役 職		氏 名
会 長	ハート歯科	神 元 龍 一
副 会 長	北山歯科医院	金 城 忍
専務理事 (医療管理)	くまがい歯科クリニック	熊 谷 徹
理 事 (会計)	オアシス歯科医院	眞喜屋 睦 子
理 事 (保険)	歯科口腔外科クリニック	金 城 尚 典
理 事 (学術)	あらさき歯科クリニック	新 崎 博 文
理 事 (学校歯科)	あさと歯科医院	安 里 忍
理 事 (地域保健)	こうげん歯科医院	木 村 智 弘
理 事 (広報)	はりえ歯科口腔クリニック	張 江 昌 宏
監 事	名嘉真歯科医院	名嘉真 武 伸
監 事	宮里歯科医院	宮 里 光 成

中部地区歯科医師会 (令和7年7月1日～令和9年6月30日)		
役 職		氏 名
会 長	松川歯科医院	松 川 隆 也
副 会 長	室川ファミリー歯科	喜屋武 望
専務理事 (医業経営・医療管理)	セルージュデンタルクリニック	梅 村 誠
理 事 (会計)	なぎさ歯科医院	高 田 隆 充
理 事 (学術)	沖縄ホワイトデンタルクリニック	金 子 智 之
理 事 (厚生)	当山歯科医院	當 山 大 輔
理 事 (保険)	あつみ歯科医院	渥 美 智 仁
理 事 (広報)	松川歯科医院	松 川 拓 幹
理 事 (地域保健)	野原歯科医院	野 原 昭 彦
理 事 (学校歯科)	ひまわり歯科	栗 田 宅 哉
アドバイザー (医業経営・医療管理)	中部徳洲会病院歯科口腔外科	仲宗根 敏 幸
監 事	歯のお医者さん	澤 野 秀 義
監 事	あおば歯科クリニック	赤 地 一 史

(公社) 南部地区歯科医師会 (令和6年5月23日～令和8年5月定時総会終結時)		
役 職		氏 名
会 長 (財務)	きらきらデンタルクリニック	井 上 博 文
副 会 長	くばがわ歯科医院	加 藤 進 作
専務理事 (地域歯科保健)	寺西歯科医院	寺 西 真
理 事 (保険)	大道歯科医院	仲 村 将 健
理 事 (広報)	えいさく歯科医院	上 地 栄 作
理 事 (健康づくり推進対策)	よつ葉歯科	高 良 正 一 郎
理 事 (学校保健)	仲里歯科医院	仲 里 耕 治
理 事 (学術)	がねこ歯科醫院	我如古 清 太
理 事 (厚生)	よなは歯科クリニック	与那覇 朝 路
監 事	砂川歯科医院	砂 川 英 樹
監 事	よなばる中央歯科	照 屋 均

宮古地区歯科医師会 (令和7年7月1日～令和9年6月30日)		
役 職		氏 名
会 長	下地中央歯科医院	波 平 真 樹
副 会 長	岡村歯科医院	岡 村 英 人
専務理事 (障がい者・介護兼務)	ともくんデンタルクリニック	池 田 吾歌子
常務理事 (会計)	がねこ歯科クリニック	我如古 充
理 事 (保険)	サンデンタルクリニック	真喜屋 建
理 事 (医療管理)	アルパカ歯科	池 村 直 也
理 事 (学校歯科)	あだん歯科クリニック	吉 田 司
理 事 (地域歯科・広報)	宮古島デンタルオフィス	本 永 昌 代
理 事 (学術)		執 行 部
監 事	あはごん歯科	大 城 智
監 事	松原歯科医院	松 原 正 明

八重山地区歯科医師会 (令和7年7月1日～令和9年6月30日)		
役 職		氏 名
会 長	ミルク歯科	内 田 吉 保
副 会 長	やましろ歯科クリニック	山 城 安 貴
専務理事 (医療管理)	すながわ歯科	砂 川 明 穂
常務理事 (保険)	みやらデンタルクリニック	宮 良 善 博
理 事 (広報)	サザン歯科クリニック	砂 川 和 徳
理 事 (地域保健)	柴田ファミリー歯科	柴 田 拓 也
理 事 (医業経営)	かなな歯科クリニック	漢 那 憲 宜
理 事 (厚生)	しおがい歯科医院	塩 谷 清 一
理 事 (学術)	森岡歯科医院	森 岡 成 行
監 事	—	上江田 武
監 事	大山歯科医院	大 山 佐千夫





・県歯報告・

## 令和7年度(第1回)臨時代議員会

日時：令和7年9月14日（日）午前10時45分～  
場所：沖縄県口腔保健医療センター 大研修室

副会長 渡慶次 彰

人員点呼

事務局長

1. 開会の辞 常務理事 中地 昭雄
2. 物故会員に対する黙祷
3. 会長挨拶 会長 米須 敦子
4. 仮議長選出 議長、副議長の選出
5. 議事録署名人指名
6. 新役員人事及び職務分掌紹介
7. 九地連会員表彰・事務局職員表彰贈呈
8. 報告事項
  - (1) 会務報告 専務理事 渡慶次 彰
  - (2) 各種委員会委員について 専務理事 渡慶次 彰
  - (3) 会計現況報告 会計担当理事 比嘉 良喬
9. 承認事項
  - (1) 寄付された金品の収受および用途について
10. 決議事項
  - 第1号議案 沖縄県歯科医師会顧問の選出に関する件
  - 第2号議案 歯科技工士養成所設立に関する件
  - 第3号議案 一般社団法人沖縄県歯科医師会歯科技工士養成所特別委員会規則制定に関する件
  - 第4号議案 一般社団法人沖縄県歯科医師会定款運用規程一部改訂に関する件
  - 第5号議案 一般社団法人沖縄県歯科医師会旅費規程一部改訂に関する件
11. 協議事項
12. 閉会の辞 常務理事 比嘉 良喬

開会の辞

常務理事 中地 昭雄

仮議長の加藤進作先生の進行により赤地一史議長、仲程泰之介副議長が選出され、赤地議長、仲程副議長により令和7年度第1回臨時代議委員会が開催された。

会長挨拶では、3期目になり人材確保、人材育成を目標とし、歯科医師に関しては研修施設をふやす、無歯科医地区、準無歯科医地区に対し検討

を進めていきたい。歯科衛生士に関しては数年前より40人から44人に募集をふやしたが、卒業までとなると厳しい状況。また、歯科衛生士の国試が難しく、100%で通すことが、ここ数年できていないため、国試対策特別委員を選定し学生の指導にあたることとした。

技工士に関しては歯科医療従事者の獲得と育成をしていく考えがある。歯科技工士の平均年齢は60代を越していて、その数多くいる就業者の方たちへスキルアップをしていただき、現役を長くしていただくこと、また、沖縄の歯科技工士を獲得するため全国の技工士学校養成所にアンケートしたところ、数人しか在籍していない。これでは沖縄で獲得するのは難しいということで、技工士養成学校をもし沖縄につくるとしたらということで4年前より県の行政、医療政策課と本腰をいれて歯科医療従事者をなんとかしなければいけないということがきっかけでした。

会長として一番に思っていることは、会員に迷惑はかけない、会からの持ち出しがない状態でそれができるかどうか、沖縄県に利益をもたらすことができるかどうか、世の中のためになる事業をやっていく、何とかそれが今の沖縄県の若い世代に生かしていけるか





どうかも検討しながら進めているところである。

今回、いろいろ考案し先が見えてきて、会員に迷惑をかけることがないような状況でできるのではないかとということで議案にださせていただいた。

代議員の皆さんの活潑なご意見を伺えたらうれしく思うとの会長挨拶であった。

議事録署名人として、南部地区の石原代議員、中部地区の金子代議員。

新役員人事及び職務分掌紹介を渡慶次専務より紹介し、各役員の自己紹介をされた。

九地連会長表彰は山川修先生、新崎隆先生が表彰された。

沖縄県歯科保健功労者表彰は上江田浩明さんが表彰された。

報告事項(1) 会務報告 (2) 各種委員会について渡慶次専務よりされた。

報告事項(3) 会計現況報告について比嘉会計担当理事よりされた。

承認事項(1) 寄付された金品の収受および用途について渡慶次専務よりされた。

#### 事前質問

- (1) 沖縄県に進出してくる大手歯科グループへの対応について
- (2) 災害に対する県歯の準備の状況について
- (3) 歯科衛生士の確保に対する県歯の対応について
- (4) ①歯科技工士養成所の年間にかかる運営費の概算を教えてください。  
②2022年より話を進めていたのになぜ令和7年7月に会員通知したのか  
③会として現在、衛生士学校、口腔保健医療センターを運営しているがそれに加え歯科技工士養成所まで運営していけるのか

#### 決議事項

第1号議案より第5議案まで議決された。

#### 閉会の辞

常務理事 比嘉 良喬

(質問・要望・意見についてはホームページ会員専用ページに掲載)







• 県外報告 •

## 令和7年度 第1回九州各県歯科医師会専務理事会

日時：令和7年9月20日（土）14時～16時30分

場所：福岡県歯科医師会館

副会長 渡慶次 彰

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 出席者紹介
4. 座長選出 川畑専務
5. 報 告
  - （1）会務報告 第21回日歯災害歯科保健医療連絡協議会について
  - （2）その他 第77回九州歯科医学大会進捗状況について
6. 協 議
  - （1）令和7年度各県事業計画及び予算について  
資料に基づき各県の事業計画予算について報告、意見交換をした。
  - （2）九地連主催の災害対策研修会の開催について  
現在の九地連歯科医師会災害時相互応援規則について、現状の国の方針に沿った変更内容の説明後、意見交換した。
  - （3）各担当学会の所管配分について  
各担当学会について協議の結果、以下の3点について変更。

○学術担当学会と医療管理担当学会は別日に開催すること。

○広報担当学会は2年に一回の開催とすること。

○医療管理担当学会における協議事項のうち、歯牙鑑定、警察等への協力、災害歯科医療対策等については、次年度より別名称で新たに担当学会を設置するか、または既存の特別委員会にて対応すること。

（4）各県提出協議題について  
なし

（5）その他

○障害者歯科については、センター実務者会議として開催するのか、どうかは再検討

○愛知県の事業所歯科健診における健診料が5千円に統一された。

7. 閉 会





・県外報告・

## 令和7年度 九州地区学校歯科医役員連絡協議会

日時：令和7年8月30日（土）14時～17時

場所：佐賀県歯科医師会 ホール

学校歯科担当理事 玉 城 齊

次 第

司会：佐賀県歯科医師会

学校歯科医会 理 事 古賀 真

1. 開会の辞 佐賀県学校歯科医会

専務理事 江口 隆郎

2. 挨拶 佐賀県学校歯科医会

副 会 長 林田 俊彦

日本学校歯科医会

会 長 柘植 紳平

3. 出席者紹介

4. 座長・副座長選出

5. 日本学校歯科医会報告 日本学校歯科医会

会 長 柘植 紳平

理 事 野間 隆文

6. 協 議

（1）令和7年度九州各地区学校歯科関係事業計画について

（2）各地区提出協議題について

（3）日本学校歯科医会への要望・質問について

（4）その他

7. 次期開催県挨拶 鹿児島県歯科医師会

理 事 宮川 尚之

8. 閉会の辞 佐賀県歯科医師会

理 事 舩元 康浩

### 【報 告】

「令和7年度 九州地区学校歯科医役員連絡協議会」が、令和7年8月30日（土）午後2時より、佐賀県歯科医師会 ホールにて開催された。

本協議会は、年に一度、九州各県で開催され、沖縄県においても4年前の令和3年（2021年）に開催されたが、コロナ禍でWeb開催となった。

また、九州は沖縄県を含めて8県になるが、福岡県は福岡市の会員数が多い為、福岡県と福岡市の2団体となり、九州は9団体で協議が行われた。

今年は沖縄県より、神下太一副委員長と担当理事



である私の二人で参加した。

開会の辞では、司会の佐賀県歯科医師会 古賀真理事より、昨今の九州地区における大雨被害に対するお見舞いの言葉より始まった。

挨拶では、柘植紳平会長より、今後の日学歯の方針について述べられた。日学歯を運営する基本姿勢として、①情報の共有 ②人材の育成 ③柔軟な施策の三つを掲げ、頭文字がローマ字の「J」であることにちなんで、「Jプロジェクト(J-project)」と名付け、今後の活動指針や、各県より委員会の委員を出して頂く事を説明した。実際に私自身も令和7・8年度日学歯委員として、①予算決算特別委員会委員と②「生きる力を育む歯・口の健康づくり」推進委員会委員を務めることになった。

さらに、北海道と沖縄県を主とした特定地域における学校歯科保健活動を推進するために臨時委員会2を立ち上げ、今年の5月に答申書を提出されたことを述べた。







本協議会の主題である各県提出協議題では、沖縄県からの協議題として「歯科医院の閉院・退会に伴う学校歯科医の減少について」提出した。

提出理由として、「沖縄県では、令和5年度の閉院・退会の会員数は4件でした。令和6年度は20件で、5倍に急増しており、学校歯科医を辞退される先生方もいます。九州各県の状況と、何らかの対策がありましたら、ご教示頂きたい。」と述べた。

その提出協議題の各県の回答として、福岡県は退会者が増加傾向にあり、その理由として。閉院、学校統合、学校歯科医会退会を挙げた。特別な対策は行われていない。

福岡市は、令和5年度は、学校歯科医会入会者6名で退会者5名、令和6年度は、入会者15名で退会者12名。増加傾向で特に問題はない。福岡市は会員数が多い為、沖縄の様な問題は起きていない。

長崎県は、若干ではあるが減少傾向にあり、何らかの対策を行わなければならない状況にあると述べた。

大分県は、各郡市で会員の減少傾向があり、それぞれの地域で学校歯科医が不足している。学校歯科医の報酬が低いことが問題で、報酬増大の交渉を行えないか、現在各地区の学校医報酬の金額調査を教

育庁へ依頼しているところである。

熊本県では、若い先生方は学校歯科医を受けない先生が多くなり、その郡市の会長にお願いしている。

宮崎県は、学校歯科医の配分は、各市郡歯科医師会が行っており、県全体としては把握してない。

鹿児島県では、歯科医師の高齢化・後継者不足により、約10年前から歯科医院の減少が続いており、2023年は前年比22医院減少している。また、歯科医院の偏在化が深刻な問題で、特に地方で複数校の学校歯科医をしている歯科医師に大きな負担になっており、後任の選任が難航している状況。改善のため、学校歯科医の手当を見直そうと学校歯科医手当について調査中。

主催地の佐賀県では、令和5年度9名退会で、令和6年度は11名退会だが、令和5年度は12名入会で、令和6年度は4名入会。退会者数は横ばい状態だが、退会と同時に学校歯科医も辞退する状況。入会の先生方には地区例会等で学校歯科医会への入会を勧めている。

九州地区9団体中7団体（宮崎県は不明）が、沖縄県同様に学校歯科医不足に苦慮している状況がよく分かった。また、学校歯科医の報酬が低いのも、学校歯科医減少の要因の一つになっている。しかし、具体的な対策は追い付いていないのが現状だ。この状態が続くと、若い世代に負担が押しかかるのは容易に想像できる。継続審議となったが、今後の大きな課題だと思う。

次期開催地は鹿児島市で、鹿児島県歯科医師会 宮川尚之理事が来年の抱負を述べ、佐賀県歯科医師会 舩元康浩理事の閉会の辞で本協議会の幕を閉じた。





・ 県外報告 ・

## 令和7年度 九州各県学術担当者会

日時：令和7年10月4日（土）14時～17時

場所：大分県歯科医師会館

学術担当理事 崎濱 秀海

去った10月5日に大分県歯科医師会館にて、九州各県学術担当者会が行われました。

開催県の大分県からは11人、他の九州各県から2名ずつが参加、沖縄県からは、理事崎濱、委員長新城が参加し、日歯からは、末瀬一彦常務理事が参加されました。

### 式 次 第

司 会 大分県歯科医師会

学術委員長 大谷 俊輔

1. 開 会 大分県歯科医師会専務理事 荒金伸次
2. 挨 拶 大分県歯科医師会長 木村哲也  
日本歯科医師会常務理事 末瀬一彦
3. 出席者紹介
4. 座長・副座長選出
5. 日歯報告 日本歯科医師会

常務理事 末瀬 一彦

①日歯生涯研修「Eシステム」の刷新 ②令和7年度日歯生涯研修セミナーの紹介 ③日本歯科師会雑誌の読者アンケート票の周知 ④日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会 ⑤嚙下機能評価研修会～嚙下内視鏡検査実習～ ⑥全国歯科大学・歯学部 若手歯科医師臨床症例発表会症例一覧 ⑦FDI世界歯科連盟 ⑧各国との交流 末瀬常務理事を中心として中国、マレーシアとの交流、意見交換、ベトナムでの講演を行った ⑨スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム（SCRIP）日本代表選抜大会 ⑩国際学術交流基金 ⑪日本歯科医学会関係 雑誌の紹介、新執行部の発表大阪・関西万博でのシンポジウム

### 6. 協 議

(1)九州各県学術関係事業計画並びに予算について

(2)各県提出協議題について 主な議題

スポーツデンティストの活用について（佐賀県）

スポーツデンティストの活動について（熊本県）

オンライン学習事業の現状と課題、および今後の活用方針について（佐賀県）

講演会の対面とリモートの同時開催についてその実施状況とその問題点について（宮崎県）

歯科医師会と警察との連携について（沖縄県）

各県における県民対象啓発事業について（大分県）

### 7. 日本歯科医師会への要望及び質問について

Eシステムで閲覧できる講師一覧について福岡県）

スポーツデンティストが活躍できるモデルケースをご教授ください（佐賀県）

糖尿病と歯科医療の連携強化および研修体系の最適化について（長崎県）

### 8. 次期開催県挨拶

佐賀県歯科医師会常務理事 原田 雄一

### 9. 閉 会

大分県歯科医師会常務理事 辛 嶋 哲

### 10. 感 想

各県とも、スポーツデンティストに大変関心が高く、協議題や日歯への質問でも取り上げられ、9年後に国民スポーツ大会が開催される沖縄県としては参考になりました。又、オンラインでの研修会は、便利な反面会場に人が集まらないなど問題点も見えました。



## ● 県外報告 ●

## 令和7年度 九州各県歯科医師会社保担当学会議報告書

日時：令和7年10月4日（土）14時～17時30分

場所：佐賀県歯科医師会館

社会保険担当理事 上原 泰 通



## I 報告事項

司 会 佐賀県歯科医師会 医療保険委員会  
副委員長 井上 将成

## 1. 開会の辞 佐賀県歯科医師会

副会長 西 孝一

## 2. 挨拶 佐賀県歯科医師会

会 長 門司 達也

公益社団法人 日本歯科医師会

常務理事 大杉 和司

## 3. 出席者紹介

## 4. 座長・副座長選出

座 長 佐賀県歯科医師会 理 事 藤瀬 恭平

副座長 長崎県歯科医師会

社保委員会理事 東 義隆

## 5. 日本歯科医師会報告

公益社団法人 日本歯科医師会

常務理事 大杉 和司

○障害者歯科医療

○歯科疾患・口腔機能の管理等の生活の質に配慮した歯科医療

○へき地等歯科医療

○多職種連携

○歯科衛生士・歯科技工士の定着・確保

○歯科治療のデジタル化等

かかりつけ歯科医の役割について（イメージ）

## 6. 協 議

1) 令和元年度九州各県歯科医師会社保関係事業計画及び予算について

2) 各県提出協議題について

3) 日本歯科医師会への質問・要望について

4) その他

## 7. 閉会の辞 佐賀県歯科医師会

理 事 藤瀬 恭平

九州社保担当者会でも、宮崎県の介護保険に対する保健所の個別指導が議題にあがりました。

沖縄県でも、訪問診療に対して保健所ではなく、九州厚生局の上部組織である会計検査院からリモート調査が入り、いきなり返還命令があったことを伝えました。宮崎県の指導では、月1件程度の居宅療養管理指導算定で指導に対して膨大な資料を要求され、一部が不備ということで5年分の返還が出ています。今後このような指導が続くようでは、誰も居宅療養管理指導を算定しなくなるのではという意見が出ていました。

## 内 容

在宅医療を取りまく状況について歯科医療について(その1)

## 1. 歯科区療を取り

巻く現状及び歯科医療提供体制

## 2. 今後の歯科治療

の需要や歯科医療提供体制等を

踏まえた次期診療報酬改定に向けた論点

○在宅歯科医療





## ● 県外報告 ●

## 令和7年度 九州各県歯科医師会医療管理担当者会

日時：令和7年10月4日（土）14時～17時

場所：鹿児島県歯科医師会館

常務理事 邊土名 朝 憲



10月4日（土）令和7年度九州歯科医師会医療管理担当者会が鹿児島県で開催された。会議は山下大輔鹿児島県歯科医師会常務の開会の辞に続き伊地知博史鹿児島県歯科医師会会長、寺島日歯常務理事の挨拶後、座長に山下大輔鹿児島県歯科医師会常務理事、副座長に牧潤一熊本県歯科医師会理事を選出し協議が開催された。

## 日歯報告



寺島常務理事から税制改正に関する重点項目、Ⅰ消費税関係（消費税は非課税）、Ⅱ事業税関係（事業税非課税特例措置存続）、Ⅲ地域医療支援関係（税額控除上限引き上げ）、Ⅳ設備投資支援関係（即時償却、10%の税額控除選択適用制度の創設依頼）Ⅴ自治体等の検診委託事業のインボイス不要依頼。厚労省、文科省に歯科衛生士、歯科技工士の人材確保及び人材養成支援の要請を引き続き行う。（当県は歯科技工士の養成等の支援助成金は要請）歯科助手講習会に関して離島が多い当県要望で動画講義が認可されたが取り扱いについての注意事項あり。今回は歯科衛生士の浸潤麻酔については厚労省から研修プログラムが提示されるも日歯見解として積極に推進は疑問。

各県提示協議題としては1、カスハラ対策 2、モラハラ対策（該当院長を如何に講演に参加させるか。モラハラドクターは歯科医師会の講演に参加していな

いことが他県からも複数あり。患者クレームも同様傾向） 3、増加する外国人対応 4、マ



イナ保険証の取り扱い、個人情報管理で他県では保健所からの監査あり 5、保健所立ち入り検査の対応 6、サイバーセキュリティ対策について 7、無料職業紹介事業（主に歯科衛生士）の立ち上げ、費用、周知について 8、女性歯科医師の復職支援事業 9、歯科技工士不足の対応 10、歯科衛生士確保事業における成果の確認方法 11、歯科衛生士の離職防止対策 12、歯科衛生士の浸潤麻酔の衛生士学校での教育予定について 13、急速閉院した医院に通院中の患者受け入れ相談について 14、会員の医院継承問題 15、医薬品の供給不足の対応 16、医療広告違反の対応等々各県とも同じような問題が上っており、情報共有及び日歯に解決策を打診、情報提供依頼し会員の為の歯科医師会と痛感した会議であった。終わりに難しい患者が増える中若い会員の先生もぜひ参加してほしい担当者会と痛感した。



## • 県外報告 •

## 令和7年度 九州各県地域保健理担当者会

日時：令和7年10月4日（土）14時～17時30分

場所：熊本県歯科医師会館4階ホール、3階研修室、2階第1会議室

地域保健委員会理事 屋嘉智彦



【全体会】 4階ホール

司会：熊本県歯科医師会 地域保健学校歯科委員会

委員長 高水間 奨

## 1. 開会の辞 熊本県歯科医師会

専務理事 宇治 信博

## 2. 挨拶

熊本県歯科医師会 会長 牛島 隆

日本歯科医師会 常務理事 野村 圭介

各事業への取り組みに対する激励

各地区独自の対応について

## 3. 出席者紹介

## 4. 座長・副座長選出

## 5. 日本歯科医師会報告

日本歯科医師会 常務理事 野村 圭介

①一般健康診断問診票を活用した歯科受診勧奨

②労働安全衛生法の一部改正（ストレスチェック）職場のメンタルヘルス対策について追加

③産業保健関係 統一したマニュアルの作成を検討中

④全国共通がん医科歯科連携講習会テキスト（第3版）

⑤全国歯科保健大会関係 R7.11/22に島根県で開催予定

⑥原則として医行為ではない行為に関するガイドライン重度の歯周病がないという条件での介護現場でのガイドライン

⑦災害歯科保健医療関係 市区町村区別にできるだけ出してほしい

⑧2025年度地域保健委員会 提言書ほか歯周病対策の再考／糖尿病連携を実行化するための具体的な方策／在宅歯科医療／令和6年度介護報酬改定の検証

## 6. 協議

## (1) 日本歯科医師会への質問・要望について

①国民皆歯科健診の進捗状況について 【大分県】

モデル地区20カ所と20歳から5歳刻みで行おうとしていたが、従来の歯科健診に少し足したようなものになりそう。一步後退したのではないかという意見に対し日歯からは予算が付くかどうか分からないという回答。

②国民皆歯科健診制度の進行状況について

【鹿児島県】

法整備にはまだ時間がかかり、従前の健診を拡大、充実しながら進めていく予定であること、予算面の問題があるとの回答。

③歯科における往診について 【大分県】

④5歳児歯科健診について 【佐賀県】

5歳児健診に歯科が全く入っていない。口腔機能の獲得・発達に問題があるのか早期に見つけることを目的に日歯から働きかけてほしいという意見が出る。日歯からは小児歯科保健の在り方を検討していくという回答。

⑤5歳児健診における歯科の対応について

【宮崎県】

⑥日歯会員用の施設向け研修会用媒体等の作成について 【鹿児島県】

動画やパワーポイント等の作成を検討しているが、他県の資料を参考に各県で先ず進めてほしい。

⑦全国共通がん医科歯科連携講習会の動画作成の進捗状況についてご教示ください。

【宮崎県】

⑧今後の産業医学講習会の開催日程について





【宮崎県】

⑨医療の偏在化に関して、日本歯科医師会として対策はありますか？

【沖縄県】

市町村単位での人的・物的資源の把握等に努めてもらいたい。地域保健だけでなく、日本歯科医師会全体で考えないといけないとのコメント。

(2) 各県提出協議題について

①「歯と口の健康週間」における啓発事業について

【大分県】

福岡県：TikTokを利用した情報発信を行っている、10～40代がターゲット層だが、そこから全世代参加型に発展させたい。

②各県の委員会構成について

【大分県】

若い世代の入会が少なく、委員の確保に各県苦慮しているとのこと。大分県では、委員会のスリム化を検討している。

③日本歯科医師会作製「健口チェックアプリ」の周知と活用について

【長崎県】

④会員の高齢化、減少による健診（検診）担当者不足の対策について

【鹿児島県】

地域によって非会員にもお願いしている場合があるそうです。沖縄県の回答の準会員の基準について質問がありました。

⑤委託事業により実施する研修会について

【宮崎県】

⑥県からの委託事業における県担当者との関わり方について

【沖縄県】

大分県：県知事が協力的であり、フッ化物洗口について県体育保健課との関係も良好

県体育保健課から反対されるという県もあったが、長崎県俣野先生より、何度も説得するべきとの意見が出ました。

⑦物価高騰の影響による各県での歯科治療における対策や問題点について

【沖縄県】

(3) その他

7. 閉会の辞 熊本県歯科医師会

常務理事 馬場 一英

感想

各県において、若年層の入会者数の伸び悩みにより、健診事業や委員会活動の人材確保に苦慮している状況がみられた。

また、福岡県での啓発活動の一環としてのTikTok動画募集企画は興味深い取り組みだと感じた。

【分科会Ⅰ（地域保健産業保健）】3階研修室 屋嘉理事、木村委員長が出席。

司会：熊本県歯科医師会

地域保健学校歯科委員会 副委員長 福田 聖一

1. 開会の辞 熊本県歯科医師会

常務理事 馬場 一英

2. 座長 副座長選出

3. 報告

(1) 各県事業計画及び予算について

(2) その他

4. 協議

(1) 各県提出協議題について

①歯科特殊検診の統括・管理および実施状況について

【大分県】

②特殊歯科健診で職場巡視を希望しない事業所への対応について

【沖縄県】

③幼稚園等におけるフッ化物洗口について

【大分県】

各県によって実施率にばらつきがあり、佐賀県・宮崎県では4～5割の園が実施しているが、福岡県、長崎県の実施率は低いとのこと。

④糖尿病以外の医療連携について

【佐賀県】

長崎県ではMRONJ、大分県では低ホスファターゼ症、の講演会等を行っている。鹿児島県ではMRONJ、周術期・回復期等医療連携のマニュアルの作成を行った。熊本県では今後、掌蹠膿疱症の連携も検討。

⑤県民向けイベントの開催状況について

【佐賀県】

⑥各県（地区）における乳幼児健診について

【長崎県】

⑦5歳児健診について

【熊本県】





佐賀県佐賀市で5歳児健診が始まっているが、歯科健診は未導入。5歳児健診マニュアルに口腔発達不全症に関する記載が必要と考えている。

他県でも5歳児健診に歯科の参画の実績は今のところない。

#### ⑧地域保健事業の地域格差の問題 【長崎県】

福岡県でも無歯科医師地区が22、準無歯科医師地区が7あるが特に対策は取っていない

巡回も経営的な面で難しくなっている。この問題は九州地区だけでなく、全国的な問題であり、日歯への要望を検討中

#### ⑨20～30代の歯周病検診の受診率向上について 【鹿児島県】

長崎県では県下の医療系の大学生に歯科保健の授業として1コマ貫っている。また、県が若い世代の歯科保健の意識向上のため動画を作成し活用。

#### ⑩事業所等の集団歯科健診入札の応募について 【宮崎県】

沖縄県、宮崎県以外の県では入札の事例はなし

#### ⑪3歳児う蝕について 【宮崎県】

熊本県では口腔保健支援センターで、全市町村の1歳6か月健診、3歳児健診、それ以外の月齢、年齢での健診の実施方法、実施内容、指導内容、困りごと等を聞き取り調査し、その調査結果をもとに指導、改善を行ったとのこと。また、歯科医師の歯科健診マニュアル作成、指導用マニュアル作成、保護者用リーフレット作成を行い、むし歯有病者率減少に効果が出ているとのこと。

#### ⑫薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）と骨粗鬆症における医科歯科連携について 【沖縄県】

#### ⑬がん治療後の歯科治療および口腔健康管理継続における医科歯科連携について 【熊本県】

#### ⑭がん医科歯科連携登録歯科医師の拡充、推進について 【熊本県】

#### (2) その他

日歯野村常務への意見・要望

①介護の現場で、介護職の方は入居者（患者）の口腔内を触れるが、訪問に同行した歯科助手は触れない。歯科助手の方が、歯科的知識

はあるのに逆転現象が起こっており、日歯には歯科助手講習会を受けたものにはそれなりの立場を確立してもらいたい。

②年制になったこともあり、衛生士学校の入学者も減ってきている。1年制などで、特定技能歯科助手という形で歯科助手にも仕事の範囲を増やすシステムを検討したかどうか。

③地域保健・産業保健・介護保険関係アンケート〈郡市区歯科医師会〉の改善の要望。質問項目が非常に多く、入力操作も煩雑。

④20～30代の歯科健診受診について大学生の歯科健診を増やしたい。日歯から対応してもらいたい。

⑤事業所健診に関して、日歯からは事業所の経営の面から経済会から反対の声があるとの説明があった。

#### 分科会Ⅰ感想

歯科健診、医科歯科連携、フッ化物洗口、産業歯科など多岐にわたる内容について意見交換ができ、大変有意義であった。また、慢性的な歯科衛生士不足の対応について、日歯への要望を含む各県の意見も共有され、非常に興味深かった。

各県の多くの先生方の率直な意見を伺うことができ、今後の当委員会の活動の参考にしていきたいと思う。

#### 【分科会Ⅱ（要介護・要支援高齢者）】2階第1会議室 友寄委員長が出席。

今年から障害者歯科関連については本会に含まれなくなりました。

司会：熊本県歯科医師会

地域包括ケア委員会 委員長 園田 隆紹

#### 1. 開会の辞 熊本県歯科医師会

常務理事 町田 由美子

#### 2. 座長 副座長選出

#### 3. 報告

(1) 各県事業計画及び予算について

(2) その他

#### 4. 協議

(1) 各県提出協議題について

①介護保険における居宅療養管理指導の算定実績について 【大分県】



すでにテキストやホームページ等で情報発信している県や、今後マニュアルや手引きの作成を検討している県あり。

②各県における介護保険実地指導の状況について

【佐賀県】

③介護支援専門員との連携の取組みについて

【佐賀県】

多職種連携のための研修会、情報共有について

④口腔連携強化加算の算定増加のための事業について

【長崎県】

⑤乳幼児健診における医療的ケア児への対応について

【長崎県】

各県とも、医療的ケア児への乳幼児健診は行われていない。

⑥介護保険施設向け研修会について

【鹿児島県】

地域や施設によってもらう金額に差がある。

⑦訪問診療の協力医の紹介について【宮崎県】

各県より連携室についての情報提供あり、連携拠点には歯科衛生士を置くべきとの意見が出ました。国や県からの基金や補助金を利用して

運営している県もある。

⑧訪問歯科診療についての意見収集、推進事業、課題について

【沖縄県】

長崎県：食支援マニュアルをホームページでだれでもダウンロードできるようにしている。

福岡県：在宅訪問同行指導やWebによる指導を行っている。

⑨介護予防事業の取り組み状況について

【熊本県】

⑩後期高齢者医療広域連合歯科健診事業のDX化について

【沖縄県】

各県ともにDX化は進んでいない。

⑪後期高齢者健診受診率向上の取り組みについて

【熊本県】

県によっては訪問での健診も行っている。

(2) その他

- ・同じような議題が多いことについて、議題の整理、以前の議題のデータベースの共有、テーマを決めて議論などを行う案が出た。
- ・宮崎県の理事の歯科医院に保健所の指導が入ったということで、その時に提示された提出項目の情報共有があり、詳細な経過について地域保健のメーリングリストで共有するとのことでした。

5. 閉会の辞

次回開催県は鹿児島県です。

他県では4名以上の参加があり、にぎやかな懇親会も含め多くの情報を得ることができました。



## ● 県外報告 ●

## 九州各県広報担当者会議会

〈日本歯科医師会  
広報関係会務報告〉

日時：令和7年10月4日（土）14時～17時30分

場所：熊本県歯科医師会館4階ホール、3階研修室、2階第1会議室

広報委員 下 所 由美子

## 次 第

司会：宮崎県歯科医師会広報委員会

司会：宮崎県歯科医師会

広報担当理事 市来 将彦

1. 開 会（14：00）  
宮崎県歯科医師会 副会長 佐野 裕一
2. 挨 拶  
宮崎県歯科医師会 会 長 上窪 高志  
日本歯科医師会 理 事 佐藤 敬司
3. 出席者紹介
4. 座長・副座長選出
5. 日本歯科医師会報告  
日本歯科医師会 理 事 佐藤 敬司
6. 協 議
  - 1) 令和7年度九州各県広報関係事業計画及び予算について
  - 2) 各県提出議題について
  - 3) 日本歯科医師会への要望及び質問について
  - 4) その他
7. 次期開催県挨拶  
沖縄県歯科医師会  
調査広報委員会 委員長 下所由美子
8. 閉 会（16：30）  
宮崎県歯科医師会 専務理事 根井 俊輔  
今回の会議は、前年度の担当者会と同様に資料の完全ペーパーレス化を目指し各委員事前に資料をダウンロードして行われました。  
日本歯科医師会報告を日本歯科医師会佐藤敬司理事により行われました。

## 日本歯科医師会への要望・質問：

- ①日歯ホームページ「全国の歯医者さん検索」の  
歯科医院情報の更新状況について（長崎県）  
研修会などの受講度が高い順に上位表示できな



いか？

技術的に不明なので答えかねるが、日歯HP「全国の歯医者さん検索」に「施設基準届出項目等」を追加:歯科医院が自身のHPに「全国の歯医者さん検索」の自院情報をリンクさせることで、情報更新の負担を軽減します

紙兎ロペ

日本歯科医師会のメンバーズルームで「紙兎ロペ」動画のダウンロードページを公開し、定期健診や歯周病、口臭の原因に関する啓発に活用している。

上記をぜひ会員に有効活用してほしい

- ②日歯PRキャラクター「よ坊さん」の活用方法や新たなキャラクターの検討について。（熊本県）  
PRキャラクター「よ坊さん」の着ぐるみ軽量版を製作し、今後の運用を検討してる。
- ③日歯でのAI活用状況および将来的ビジョンについて（鹿児島県）  
議事録作成などにとどまっている  
各県からの提出議題としては  
①会員向けホームページの閲覧率向上策について（佐賀県）

特に施策をとっていない県がほとんど。

福岡県は「会員であることの意味」を理解させる環境づくり、長崎県は動画型情報提供サイト「Cafeteria」の設置などを紹介している。





鹿児島県では会員向けに複数のサイトを運営している定期発送物掲載サイト会員サイト社会保険サイトがある。閲覧率を上げるための特別な政策を行っていない。

宮崎県広報誌について、デジタル配信（ホームページ掲載）と紙両方を行っている。

週次でメールにて情報の公開について周知し、1か月分のメール配信内容を会員向け発送物（紙）に同封している。

②外部組織とメールで医療情報をやり取りする際のセキュリティ上の注意点や事例について（長崎）

多くの県がそのような運用はしていないが、福岡県・大分県は人情報を含むメールの暗号化やパスワード付与を行っていることが示された。

③SNSの利用状況と活用後の変化について（熊本県）

福岡県は「何を届けるのか、何を教育するのか」という中身の重要性を指摘し、宮崎県、長崎県はyoutubeの利用のみ行っている。

大分県、鹿児島県、佐賀県はSNS運用の労力や責任者に関する課題から当面見送る方針である。

④会報誌の発行回数削減とペーパーレス化に伴う課題について（大分県）

福岡県はデジタル機器に不慣れな会員へのサポート体制（説明会、ハイブリッド運用、アンケート）の重要性を強調し、長崎県は情報量増加による可読性低下や情報鮮度低下、情報到達率の確保、デジタル機器不慣れな会員への配慮を懸念している。

会誌の発行数を維持(11回～12回)長崎県、熊本県会誌を完全デジタル配信化：鹿児島県 大きな問題は生じていない。

沖縄県（年6→4回へ）宮崎県 隔月（紙も同様行っている）

⑤定期発送物の電子メール化に伴うメール開封率向



上の工夫について（鹿児島県）

福岡県は件名・冒頭の改善、(〇月〇日までに対応必須！など)要点の明確化、配信頻度の最適化、複数チャネルの活用不足(会員サイト、snsなど)

「自分事化」する工夫などを提案している。

開封率を計測していない。宮崎県を含めほとんどの県では開封率を計測している。沖縄県80% 大分県40%

⑥会員専用ホームページにおける情報共有の内容について（沖縄県）

福岡県、長崎県は保険関連情報や医療管理情報を積極的に共有し、「会員である意義を実感できる」情報共有モデルの構築を目指しています。

宮崎県：創立百周年記念誌の発行に関する各県の現状について質問した。各県とも記念誌の発行は行っていたものの、今後は発行を予定しない（福岡県、佐賀県、長崎県、大分県）予算や労力の関係で簡素化したり、今後はデジタル化を検討するなどの動きが見られた。

まとめ

各県ともペーパーレスに対してデジタルに消極的な層をどうフォローアップするかといったところが課題となっており大幅には進んでないということがわかった。

日歯はホームページにおいて会員が有効になるような取り組みを多く行っていることが分かった。また国民に向けてもあらゆる媒体で最適化された啓発活動に取り組んでいることがわかった。

懇親会では、宮崎県をはじめ各県の先生方に温かくお声がけいただき、地域の情報やご苦勞を伺うことができ、たいへん有意義な交流となった。次回は沖縄が主幹となりますので、今回得た知見を生かし、準備に努めてまいります。

## ● 県外報告 ●

## 令和7年度 九州地区学校歯科医療安全対策担当者会

日時：令和7年10月18日（土）14時～17時

場所：沖縄県口腔保健医療センター

常務理事 邊土名 朝 憲

10月18日（土）各県担当者との活発な意見交換が沖縄県口腔保健医療センターにて行われた。

日歯から門司達也理事、九州各県歯科医療安全対策担当者、沖縄県歯の米須敦子会長、渡慶次彰専務の参加で歯科医療安全担当者会が開催された。

会議は米須沖縄県歯科医師会会長、門司達也日本歯科医師会理事の挨拶に続き、座長に邊土名朝憲沖縄県歯科医師会常務理事、副座長に次期開催県の中村貢治福岡県歯科医師会理事を選出し協議が開始された。初めに門司達也日歯理事から日歯報告があり、地域医療介護総合確保基金の拡充、歯科衛生士及び歯科技工士の人材確保及び養成の支援、生涯を通じた歯科検診の実現、医療安全対策への対応院内感染対策等の充実強化、「歯科衛生士による浸潤麻酔の実施に向けた研修プログラム」について説明報告が行われた。

## 1. 各県提出協議題

①神経障害事案について ②舌神経麻痺事案に対する対応について ③モンスターペイシャントからの医療相談苦情に対する電話対応について ④クレ



ーム患者の対応について ⑤事務局での相談者への対応について ⑥ゲーグルクチコミへの対応について ⑦歯科衛生士の浸麻について ⑧患者さんの死亡事故事例に関して ⑨損害保険会社の自費治療費支払い拒否について

## 2. 日本歯科医師会への要望質問

## 3. 統一フォーマットによる事例報告

多岐にわたる情報交換、協議を行った後、初の試みで弁護士の久保以明先生を交えて各県問題事案に関する見解と対応について各県から一問一答形式での討議が行われた。

次期開催県の中村貢治福岡県歯科医師会理事の挨拶後、渡慶次沖縄県歯科医師会専務の閉会の辞にて終了した。

## ・県内報告・

## アンチ・ドーピング研修会

日時：令和7年8月3日（日）10時～12時  
場所：沖縄県口腔保健医療センター 大研修室

学術委員 新城 美由紀

「歯科領域におけるアンチ・ドーピング」と題して、沖縄県薬剤師会スポーツファーマシストの笠原大吾先生・黒島新先生にご講演をして頂きました。

今回の講演会は、令和16年（2034年）に第88回国民スポーツ大会（現国民体育大会）を沖縄県で開催決定ということにより、薬科と歯科との連携を図る第一歩として開催致しました。

スポーツファーマシストとは、最新のアンチ・ドーピング規則に関する情報・知識を持ち、アスリートを含めたスポーツ愛好家に対して、薬の正しい使い方の指導などを行う専門家です。特に「意図しないドーピング（うっかりドーピング）」を防止することが期待されています。薬剤師の資格を持ち、最新のアンチ・ドーピングに関する知識を持つ、JADA（日本アンチ・ドーピング機構）が認定する薬剤師です。

スポーツファーマシストとしての職務内容としては

- ①アンチ・ドーピング講習…選手やサポートスタッフ、保護者などへの講習
- ②相談ブースの設置…依頼を受けた競技の大会会場で相談ブース設置

③お薬相談…選手からの相談の受付、または医師も含めた関係者に対して、アンチ・ドーピングの観点からの治療方針への助言・提案

などを行っているそうです。公認スポーツファーマシスト制度は2009年に始まり、現在はスポーツドクターより人数は多いのですが、一般にはあまり知られていないということが課題とのことです。

ドーピングとは、競技能力を増幅させる可能性がある手段（薬物あるいは方法）を不正に使用することで、スポーツの基本理念であるフェアプレイに反する行為、スポーツの価値を損なう行為として禁止されています。

近年、規則違反による制裁措置はかなり厳しく、薬物ドーピングの検出技術精度も非常に高度になってきているそうです。また、禁止薬物は毎年見直し・更新されるとのことで、常に注意が必要です。

日本国内では、現時点で、歯科治療を行った結果、ドーピング違反となった事例は確認されていないとのことです。また、私たち歯科医師自身もアンチ・ドーピングのことを意識したことはほとんど無かったのではないのでしょうか。今回の研修会をきっかけに、また、9年後の国民スポーツ大会にむけて、アンチ・ドーピングのことを学んでいきたいと思いました。

研修会への参加者はWeb13名、会場16名でしたが、質疑応答は活発に行われ、アンチ・ドーピングへの関心の高さを示していると思いました。

本会でも、スポーツデンティストとして11名の受講修了者がいます。





# OPEN CAMPAS

沖縄歯科衛生士学校

**開催日：2025年6月21日(土)、8月8日(金)**

**対象者：高校生、保護者、社会人等**

**実施内容：入試説明会、模擬実習体験、施設見学、在校生との交流会、個別相談など**

## 1. 参加者数：65名

### ◆区分

高校1年生（1名） 高校2年生（8名）

高校3年生（49名） 大学生（1名）

社会人（6名）

保護者の参加も年々、増加傾向にありますが、保護者の出欠確認までは行っていなかったため今回、正確な人数の把握ができていません。次年度以降、確認方法の見直しをし、集計するよう改善したいと思います。

## 2. 実施内容

### ◆模擬実習〈印象採得・歯面研磨〉

当日ボランティアの当校2年生の協力のもと、楽しみながら体験する光景が見られました！当日参加者の声として、「2年生が分かりやすく丁寧に教えてくれた」「実習の様子がイメージできた」「初めて触れる器具、作業がとても楽しかった」など、実習について全員が「よかった」とアンケートの回答がありました。



### ◆在校生との交流会〈懇談の様子〉

参加者には事前予約をいただき、できる限り在校生と参加者の出身校をあわせ話しやすい雰囲気を作るよう心がけていて、毎回好評です！

### ◆入試説明会

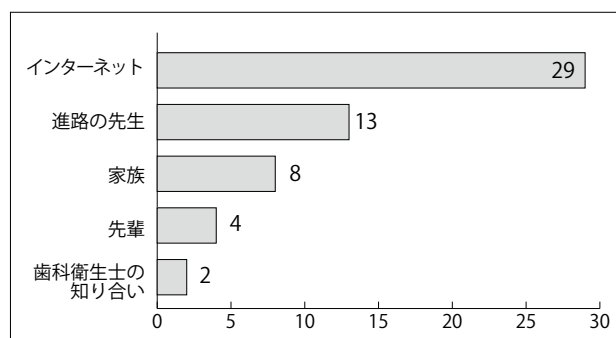
歯科衛生士の魅力について説明し、また入学試験についての詳細をパワーポイントを使用し説明しています。年々、奨学金申請についての質問も増加しています。



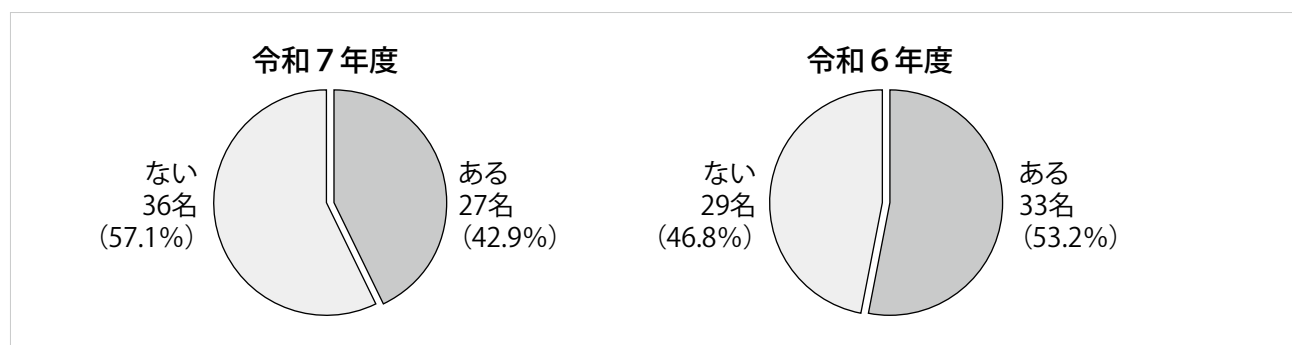


### 3.アンケート結果〈抜粋〉

「進路を決定する際の情報収集はどのようにしているのか」との問いの結果、



「インターネット」での情報収集が主ではありますが、学校の進路の先生からの助言なども参考にしている様子がみられます。そのため、沖縄県歯科医師会の会員の先生方のご理解、ご協力のもと県立高校の学校歯科検診でのPRに3年前から力を入れています。「学校での歯科検診で本校のPRをみたことはありますか」との問いの結果が以下の通りになります。



少子化の影響により入学希望者の母数はこれから減少傾向に向かうとみられ、安定的な学生確保は今後さらに難しくなることが予想されます。

魅力ある学生募集を心がけ、一人でも多くの入学

希望者につなげられるよう教務一同精進してまいります。会員の先生方のご理解ご協力宜しくお願い致します。

参加者の区分によっても変わり、また地域の差が出ますが今年度は半数近く、前年度は半数以上の参加者が本校のPRを目にしています。

# 令和7年度 第12回 就職説明会を終えて

(一社) 沖縄県歯科医師会立 沖縄歯科衛生士学校 専任教員 上 原 生 子

今回で12回目になる就職説明会が以下の内容で開催されましたのでご報告致します。

- ・日 時：令和7年8月17日（日）10：00～12：00
- ・場 所：沖縄歯科衛生士学校 4階講堂
- ・参 加 者：本校3年生（39人）
- ・当日運営：学校運営委員（6人）

## 《参加学生アンケート結果》

### ★就職説明会に参加してどうでしたか

とても良かった	19
良かった	20
あまり良くなかった	0
良くなかった	0

- ・いろいろな医院の話を聞いて良かったです
- ・求人票だけでは分からない事も知ることが出来た
- ・複数の医院の情報を収集でき、比較できた
- ・紙ベースと実際話を聞くのとでは違うなど実感したから
- ・いろいろな医院の良さを知れた
- ・各医院の特徴等を知ることができた
- ・医院の雰囲気が知れたから
- ・全部回れたので良かったです
- ・知りたいことを直接聞くことができたから
- ・色々な医院の特徴や雰囲気などを聞いた
- ・楽しかった！
- ・他に決める基準がみつかった
- ・各歯科医院がどこに力を入れているかなどを知ることができた
- ・質問も沢山出来て、歯科医師の先生や衛生士さんの雰囲気なども知る事ができた！



- ・自分が視野にいれていない医院の話も聞けて、案外良いなと思う所があったから
- ・南部にしか目を向けていなかったなので、他の医院の特色を知れて視野が広がった
- ・歯科医師の先生や衛生士さんの人柄も見えたとし、視野に入れてなかった所でも話を聞いてみると意外と良くて見学に行きたいと思ったところが増えました！

### ★各診療所の説明内容について

よく理解できた	5
理解できた	26
あまり理解できなかった	8
理解できなかった	0

- ・パンフレットやスライドを使ってわかりやすく説明してくれた
- ・何の治療に力を入れているのか知ることが出来た
- ・医院の特徴を要点でまとめて話してくれた
- ・質問したい事聞けたので良かったです！
- ・歯科衛生士の業務などを細かくしれた
- ・福利厚生が聞けてよかった
- ・3分しかない中で色々なことを説明してくれたから





- ・スライドなどあるところは分かりやすかった
- ・時間が短かったけどある程度の話が聞けた
- ・理解できたこととあまり内容がわからないところがあった
- ・資料とかもらえた
- ・わかりやすく説明してくれた
- ・各医院の特徴や雰囲気がわかりました。求人票も机に置いてくれてありがたかったです



- ・3分と短い時間ではあったが、聞きたいことは説明してもらえたので良かった
- ・住んでいる地域を答えると関係のない話だけで医院について説明が無く少しモヤモヤした

昨年、本校の「就職説明会」を8月に開催する報告をさせて頂いて実施された初の取り組みでした。学生の感想はとても良い内容でした。ご参加頂きました先生方・歯科衛生士・スタッフの皆様には心より感謝致します。学生は8月中は各自の国家試験対策と就職活動に専念し、9／1からは臨地・臨床実習が再開致します。その間、見学を済ませた診療所についてしっかりと考え、臨床実習終了後には再度、就職活動を行い最終決定する事になりそうです。この大幅な変更により、課題だった国家試験対策にも落ち着いて取り組む事ができ、学生と教務双方の安心につながると考えています。





令和7年度

# 沖縄歯科衛生士学校「講師懇談会」

(一社) 沖縄県歯科医師会立 沖縄歯科衛生士学校 専任教員 上 原 生 子

今年の講師懇談会は、会場を本校講堂に移し、お弁当を召し上がって頂きながらの講演会形式となりました。講師に、DHS歯科衛生士部から吉川先生（DES歯学教育スクール専務理事）を迎え、「歯科衛生士国家試験の傾向と対策」と言うテーマで、ご講演頂きました。今年4月には本校の全学生も受講させて頂いております。



年々難易度を増す歯科衛生士国家試験対策の取り組みとして、学生の学習意欲の向上及び、最新の出題傾向を踏まえた学習方針の共有を目的として企画致しました。学生が自ら課題を認識し、学習習慣をより主体的に整える機会となる事を意図としています。

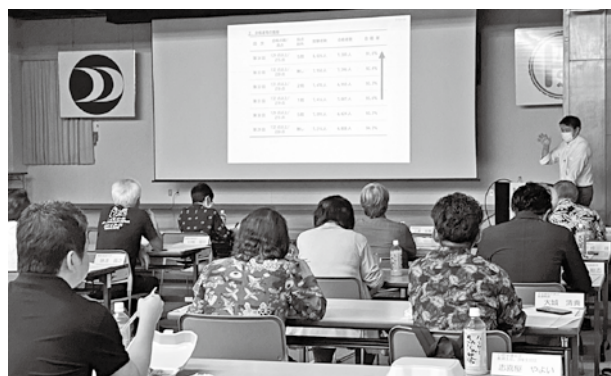
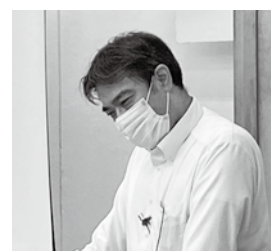
講師の吉川先生からは近年の歯科衛生士国家試験の出題傾向や分野別の重要ポイントについて具体例（国家試験問題）を交えながらご説明頂きました。

特に、基礎知識を確実に修得し、正答率の高い問題は確実に理解する事、又教科書の図版はしっか

りと理解しておく必要がある、更に、臨床実習との関連を意識して学ぶ事の重要性については、強く印象に残る説明でした。

参加された本校講師からは、「国家試験問題を見る角度について大変参考になった」「現在取り組んでいる授業の方法に間違いはないようで安心した」「今後の授業内容を少し工夫してみます」等の感想を頂きました。

今後は更に、国家試験過去問題との関連を意識した授業の強化が効果的である事から、教員間でも情報を共有しながら全員合格を目指して取り組んで参りたいと思います。





# 物価高に対する食の支援事業

(一社) 沖縄県歯科医師会立 沖縄歯科衛生士学校 専任教員 上 原 生 子

本校では、学生の生活と学びを支援するために「食の支援事業」として、在校生全員を対象に、お米とコーンスープの授与を決定致しました。本事業は経費の一部を日本学生支援機構に寄せられた寄付金を活用して実施されたもので、米などの食料品価格高騰の影響を受けている学生の生活を支援するための取り組みです。



中地副校長から「ご飯をしっかりと食べて学校生活をより一層頑張ってください。学校は皆さんを応援します」と授与された学生からは「お米の値段が高くパンや麺類を食べる機会が増えていたのでとても有難いです」「国家試験も頑張ります!」と笑顔での感想や「親が喜びます!」と家族思いの優しい気持ちが見えた授与式となりました。



このご厚意に感謝申し上げますとともに、今後も学生が安心して学びに専念できる環境作りに努めて参ります。





## 第77回九州歯科医学大会

## 第77回 九州歯科医学大会 野球大会



沖縄県歯科医師会野球部主務 佐久本 圭

第77回九州歯科医学大会の野球大会が、令和7年10月26日（日）に爽やかな風が心地よい秋晴れの中華椎浜公園野球場にて開催されました。

今大会から下地森夫選手、安谷屋信哉選手、古堅勇選手も加わった少数精鋭12名の沖縄チーム。

初戦の相手はいきなり前回大会の覇者福岡県。面白い、相手として不足はないです。

なんてったってうちの新エース！安谷屋選手の球は速いし、変化球はキレッキレだし打てません！！

今日は仲程監督がマスクをかぶりリードします。

試合前シートノックでのベテラン城間選手の完璧なノック、サード与那覇選手の安定感のある守備、古堅、下地、加藤の二遊間の軽快な守備。



仲本、吉田、小林ら外野陣の堅実な守備。さあ気合が入ってきたぞ、勝てる気がする。

結果1-10で敗戦。吉田選手の空を切り裂くライトオーバーの三塁打、仲里選手、佐久本選手のヒットなども見られましたがホームベースが遠かった…。

負けはしましたが、点差ほどの差は感じなかった。フレッシュな若いメンバーも増えてきた沖縄チーム。伸びしろしかありません。

最後に、米須会長をはじめ福岡までかけつけて応援して下さい先生方、本当にありがとうございました。

沖 縄	0	1	0	0	0	1
福 岡	1	5	2	2	×	10

福岡戦オーダー

- 1 (二) 古 堅 ⇒ 城 間
- 2 (捕) 仲 程
- 3 (遊) 下 地
- 4 (中) 吉 田
- 5 (右) 仲 本
- 6 (三) 与那覇
- 7 (一) 佐久本
- 8 (EH) 仲 里 ⇒ 加 藤
- 9 (左) 小 林
- 10 (投) 安谷屋



## 第77回九州歯科医学大会

## 九州歯科医学大会厚生ボウリング大会



ボウリング部 部長 中 村 亨

第76回 九州歯科医学大会厚生ボウリング大会が令和7年10月26日、福岡県福岡市パピオボウリング場にて60名の参加者の中おこなわれました。沖縄県からは4人の参加となりました。

団体戦優勝目指し、いざ出陣。大会会場は1フロワー24レーンの小さなボウリング場。団体戦が一度にできず2シフト制となりました。開会式では昨年沖縄県大会で優勝の混合チームを代表して大分の大塚先生より優勝旗の返還後試合が始まりました。レーンオイルコンディションは44フイート28.95ml(1日オイルが残るように多くしているようです)。

早いレーンコンディションとピンが重くスプリットが出やすいレーン、早い時間でオイルが変化レーンが曲がりやすくなりスペアーが難しい状態に、我が沖縄県チームもかなりてこずっている状態で全員レーンに苦しみ普段通りの実力が出せず9ゲームが過ぎていきました。惜しくもダブルス戦 熊谷、中村組が僅か9点差で入賞逃した事と熊谷徹先生ハイゲーム賞249点途中まで守っていましたが後半に逆転され惜しい結果となりました。2次会は福岡博多にて反省会、くえ料理三昧、仕上げに馬肉と焼酎でしめる形となりました。



最後に来年の大分大会でのリベンジを誓い宴も終わりました。参加された先生方、応援してくれた国吉綾子先生 石原一先生 ありがとうございます。来年は他のメンバーの先生方も一緒に投げましょうね。お疲れ様でした。

“継続は力なり” いつかきっと、、、、、、

最後になりましたが、今回激励していただきました沖縄県歯科医師会米須会長、渡慶次副会長、事務局職員の皆様本当に感謝申し上げます。“ありがとうございました”



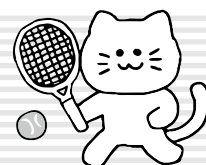
## 沖縄県チーム 今回の参加者成績

- ★赤地一史 (9 G HD込み1589点)
- 熊谷 徹 (9 G HD込み1625点)
- 松川拓幹 (9 G 1380点)
- 中 村亨 (9 G HD込み1649点)





## 第35回九地連テニス大会 報告



テニス部 長 堂 芳 子

令和7年10月18日、福岡県県営春日公園テニスコートにて第35回九地連テニス大会が行われた。

沖縄県からは、上地智博先生、新垣善章先生、福里剛先生、松川隆也先生、能登原敬先生、長堂芳子の6人が参加した。

試合形式は、参加20チームを5ブロック（A, B, C, D, E）に分けて夫々2試合ずつを行い、各ブロックごとに順位を決定する。その結果によりブロック1位と2位はAトーナメントに進み、3位と4位はBトーナメントに進むという方式だ。

沖縄県の作戦は、Aトーナメントに進むとレベルが高いので直ぐに初戦敗退してしまうだろう。だから、予選3位か4位で良しとしBトーナメントでの優勝を目指す目標だった。

主将会議での抽選の結果、沖縄県は第1シードの博多山笠のリーグブロックに決まった為、これまでにやったことのない作戦会議もどきが始まった。

「博多山笠」はコロナ禍で開催出来なかった数年や大雨に見舞われた大分大会を抜きにして、現在6連覇している強豪チームだ。その「博多山笠」と対戦できる機会はそうそうないだろうし、先ずどう転んでも勝てる相手ではない。当初、沖縄県チームのナ



ンバー1と2は切り離してペアを組む予定だったが、強豪相手にどこまで沖縄県のナンバー1と2ペアが戦えるかを試して見ようではないかと決まる。これまでの練習会でも組んだことがないが、急遽福里・能登原ペアが誕生したのだった。

第1戦は「小倉祇園太鼓」というこれも福岡県のチーム。No.1（福里・能登原）ペアは、5-2までは危なげに勝つだろうと思いきや追い上げられて、辛うじて6-5アップ、No.2（上地・新垣）ペアは1-6でダウン、No.3（松川・長堂）ペアは2-5から追い上げて5-5に追いついたものの流れをも

【団体戦予選リーグ】

	A1	A2	A3	A4	勝敗	順位
A1 博多山笠		3-0	3-0		2-0	1
A2 金霧	0-3		0-3		0-2	4
A3 かりゆし	0-3		1-2		0-2	3
A4 小倉祇園太鼓		3-0	2-1		2-0	2

試合順 ① 1VS2 ② 3VS4 ③ 1VS3 ④ 2VS4

	B1	B2	B3	B4	勝敗	順位
B1 肥後もっこす		3-0	3-0		2-0	1
B2 白霧	0-3		3-0		1-1	2
B3 銀河鉄道999	0-3		0-3		0-2	4
B4 星久島・熊本県選成		0-3	3-0		1-1	3

試合順 ① 1VS2 ② 3VS4 ③ 1VS3 ④ 2VS4

	C1	C2	C3	C4	勝敗	順位
C1 宗麟		3-0	2-1		2-0	1
C2 霧島	0-3		3-0		1-1	3
C3 サザンクス筑後	1-2		3-0		1-1	2
C4 火の国		0-3	0-3		0-2	4

試合順 ① 1VS2 ② 3VS4 ③ 1VS3 ④ 2VS4

	D1	D2	D3	D4	勝敗	順位
D1 黒霧		3-0	1-2		1-1	3
D2 かがらす	0-3		0-3		0-2	4
D3 久留米河童連	2-1		1-2		1-1	2
D4 出島		3-0	2-1		2-0	1

試合順 ① 1VS2 ② 3VS4 ③ 1VS3 ④ 2VS4

	E1	E2	E3	E4	勝敗	順位
E1 桜島		2-1	2-1		2-0	1
E2 長崎県は東リ戦です	1-2		2-1		1-1	3
E3 博多どんたく	1-2		3-0		1-1	2
E4 めじろん		1-2	0-3		0-2	4

試合順 ① 1VS2 ② 3VS4 ③ 1VS3 ④ 2VS4



のに出来ず5-6ダウン。結果1対2の負け。

第2戦はいよいよ「博多山笠」だったが、やはり格が違いすぎた。No.1（福里・能登原）ペア1-6、No.2（上地・松川）ペア0-6、No.3（新垣・長堂）ペアで1-6と完敗であった。

沖縄県の予選リーグは早めに終わったのだが、Bトーナメントでの対戦相手リーグの試合がかなり長引いた。その為、この後で試合に入っても途中で棄権することになれば相手チームにも迷惑をかけることになるだろう。沖縄県チームはBトーナメント参加をこの時点で棄権すると決定。残念だけど、主将福里先生の英断だったと思う。

その後、空港へ向かうタクシーに乗ったところで雨が降り出してきた。早めに着いた空港にて打ち上

げを行っているところに、テニスの福岡責任者からグループラインが届く。「雨の為に、ベスト4以降の試合ができず、じゃんけんで決着した」との内容だった。

「福岡大会の終わりは大分大会への始まり」。皆の気持ちも大分大会へと切り替わったが、それはこれからの老いとの戦いの始まりでもある。能登原先生以外は65歳以上の高齢者。70歳台に突入した者もある。若者は1年ごとに若竹の如く伸びていくが、我々は維持する困難に立ち向かわないとならないのだ。たかが1年といえどもその差は歴然としている。

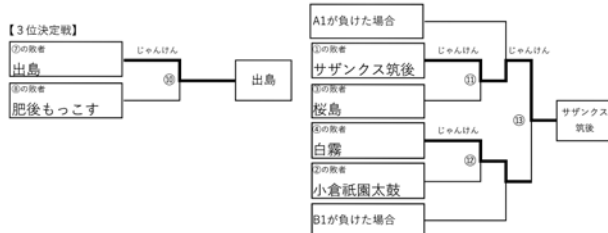
毎年試合後に何かが起こるテニス部だが、今年は無事に帰路についた。その後のグループラインで、新垣善章（ぜんしょう）先生は名前が悪いのではないかという話になり、全勝出来ないのだからこれからは新垣全敗（ぜんぱい）と呼ばれるのが相応しいだろうとなった。

沖縄県歯科医師会のテニスを楽しむ先生方、テニス部の見学に一度来られませんか。毎週金曜日の午後7時から10時まで、南風原町のちむぐくる館屋上テニスコートにて練習会を行っています。経験者は優遇？大歓迎です。

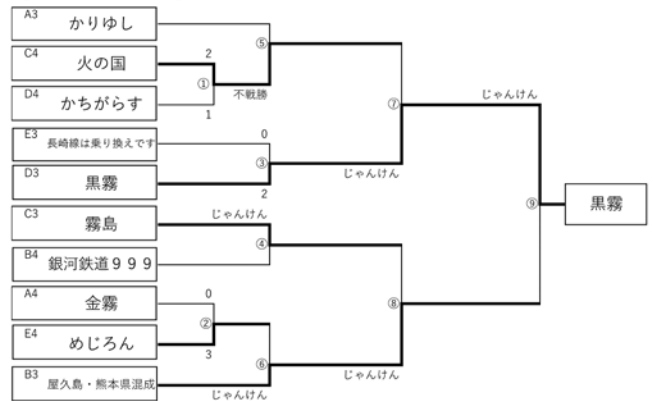
【Aクラストーナメント】



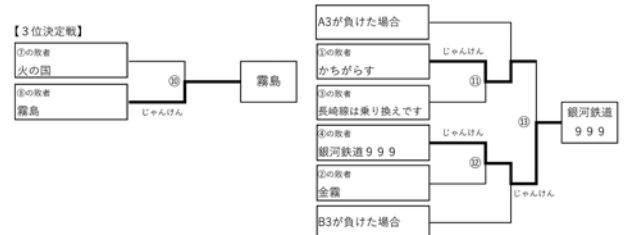
【Aクラスコンソレーション】



【Bクラストーナメント】



【Bクラスコンソレーション】



## 九州歯科医学大会厚生 剣道大会



剣道部 平 良 恵 信

10月26日（日）福岡市の修悠館高校体育館において、厚生行事の剣道大会が開催されました。前年の沖縄大会のお礼も兼ねての大会参加でしたが、今大会の参加者は負傷のため見学の津嘉山先生と平良だけの参加となりました。

参加人数が少なく団体戦のチームが組めないため、沖縄県は団体戦には出場しませんでした。団体戦の予選の後、個人戦が行われ一般の部、シニアの部のベスト4までの試合が行われました。平良はシニアの部に出場しましたが延長戦の末に負け、初戦敗退となりました。

団体戦決勝は熊本県と地元の福岡県との対戦となり。熊本県が優勝前年に続いての連覇となりました。

来年の大会は大分県での開催になります。来年こそは沖縄県単独チームで団体戦を戦いたいと思います。





# 令和7年度 デンタルファミリー釣り大会



歯科医師会の釣り大会が去る8月31日（日）に行われました。

今年は当初予定していたパヤオ釣りは、パヤオまで行く遊漁船が見つからず、急遽、グルクン釣りに変更しました。

いゆまち近くの漁港から6時30分に出港し15時に帰港しました。漁場はチービシ周辺で、神山島の南側水深20メートルの場所に着いて、すぐ大きなグル

あらかき歯科クリニック 新垣善章  
クン（俗に言う一斤グルクン）が釣れ出し、納竿の14時ぐらいまではほぼ入れ食い状態でした。グルクン以外にはオジサン、ミーバイ、ムルーなどが釣れ一人あたり20～30匹の釣果となりました。

最近、釣りではなく漁に出るんだと豪語する嘉数武男先生が、ぶっちぎりの大漁賞でした。帰りは神山島にかかるダブルレインボーが見られるという幸せな1日となりました。



神山島にかかるダブルレインボー



# 会員プロフィール

- ①氏名(ふりがな)
- ②生年月日
- ③出身大学・卒業年度
- ④歯科医院名・所在地
- ⑤医院の特徴・PR
- ⑥趣味・マイブーム・自己紹介
- ⑦家族構成・ペット等
- ⑧県歯科医師会に望むこと



①<sup>おか もと やす のぶ</sup>岡本 泰信

②1977年2月7日

③長崎大学卒  
2002年卒業

⑤機械、器具の滅菌や高水準消毒に力を入れており、DX化を推進しています。

⑥読 書

⑦妻と子供3人 犬3匹

⑧地域歯科医療のさらなる発展をお願い申し上げます。

④医療法人ふたば ふたば歯科クリニック  
〒904-2242 うるま市高江洲1029-3-2F



①<sup>こ わたり しげ き</sup>小渡 茂樹

②1980年2月15日

③日本大学(松戸)卒  
2009年卒

⑤開院33年目にして訪問診療をはじめました。

⑥プランターで野菜作り

⑦妻、娘、息子の四人暮らし

⑧入会のご了承ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

④みなみ歯科医院  
〒901-1104 南風原町宮平248-5

## 職員紹介



### 田村典子

令和7年7月より沖縄歯科衛生士学校の教務に携わらせていただいております。

新しいことの連続で慣れないことも多いですが、学校の先生方に教えていただきながら、日々業務に励んでおります。沖縄の歯科衛生士教育に貢献できるよう今後も頑張っていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



### 島袋琴代

令和7年6月より衛生士学校にて事務業務に携わらせていただいております、島袋と申します。

前職では小・中学校や学童といった教育現場で働いていました。事務経験があまりないため、新しい環境に対して多少不安もありましたが、学校の先生方に優しく迎え入れていただき、支えられながらも業務に励むと共に、充実した

日々を過ごすことができます。

少しでも皆さんのお力になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



### 森兼志保

令和7年9月より衛生士学校にて、北部・離島事業の業務に携わらせていただいております、森兼と申します。

入社して2ヶ月が経とうとしておりますが、日々周りの方々に助けていただきながら業務に励んでおります。

一日でも早く、皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思いますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。』



## 口腔機能全般に注意を



363

上原 かんな

上原歯科医院（糸満市）

家族や友達と囲む食卓は何よりの幸せです。人生100年時代、できるだけ自分の口で食べて、話して笑ったり歌ったり楽しんでいきたいものです。食べるためには歯が重要です。しかしながら、歯を入れたからしっかり食べられるというわけではありません。しっかり食べるためには、歯だけでなくほつたや唇、舌など口の周囲の調和の取れた働きと一定の唾液の量が必要で、これらが協調して食べ物の塊をつくり、咀嚼して飲み込むことができるのです。

失った歯はインプラントや入れ歯などで補うことができますが、歯がきちんとそろっていても舌や口周りの筋力が低下したり、唾液が少なくなったりすると食べることに加えて、話をすることも難しくなってしまうのです。

### 食べる力

唾液量の減少や舌、口唇の運動機能の低下、食べ物を飲み込む機能の低下は全身疾患や加齢によって現れてきます。これをオーラルフレイルといいます。口腔機能の低下の兆候として日常生活で見られるのが、食べこぼしや口の中に食べ物が残る、お茶や汁ものにむせやすくなる、硬いものが食べにくくなったり薬などが飲み込みにくくなったりすることもあります。口の中が乾く、会話などで言葉を話さずきり発音しにくくなる、口臭がするなどとも挙げられます。以前と比べて、このような症状に変化がないかなど確かめてみましょう。

小さなことのようにですが口腔機能に注意することが、全体的なフレイルの予防につながるのです。思い当たる点があれば放置せず、かかりつけの歯医者に相談して適切な対策を取るのが大切です。

予防としては口の中を清潔に保ち、口の体操をしたり歌を歌ったり、楽しくおしゃべりするのでもいいでしょう。若い頃と同じ状態を保つのは難しいと思いますが、少しでも長く自分の口で食べて元気に楽しく過ごしたいものです。

第3水曜日掲載

令和7年8月20日（水曜日）

## かむ力低下 健康に悪影響



364

本永昌代

宮古島デンタルオフィス（宮古島市）

80歳で20年以上の自分の歯を保とうという「8020運動」が始まって30年以上がたちました。これは、歯が健康であれば、食事や会話を楽しむことができ、生活の質が向上するという考えに基づいています。最近の研究では、かむことが脳の活性化に関与していることが明らかになってきました。しっかりとかむことで脳に刺激が伝わり、認知症の予防につながるとされています。

また、歯を失うことが全身の健康に悪影響を及ぼすことも分かっています。歯の喪失は、かむ力の低下を招き、栄養の偏りや食欲不振を引き起こす可能性があります。その結果、フレイル（虚弱）やサルコペニア（筋肉減少症）といった健康障害が進行するリスクがあります。

### 歯を失うと

高まります。歯科医師としては、患者さんができるだけ多くの歯を残して健康に過ごせるよう支援することが使命です。

歯の治療を目的とした通院が、実は体の健康維持に大きく関係していることを存じでしょうか。最近の研究では歯周病が糖尿病や心疾患、認知症、高血圧、誤嚥性肺炎など、さまざまな全身疾患のリスク因子であることが分かってきました。そのため、定期的な歯科検診やクリーニングによって歯周病を予防・早期発見・早期治療することが、全身の健康維持に寄与する重要な取り組みとされています。

また、歯を失った場合には、入れ歯やインプラントなどの補綴治療を通じて、かむ機能を回復させることも大切です。毎日の食生活において、しっかりと噛めることが「幸せな生活」の健康維持に欠かせません。そのためには、歯と口の健康を守るための定期的なメンテナンスが重要です。もちろん、日々の正しい歯磨きやフロス、ブラッシングのケアといった自身の食後のケアも大切です。

「かむ喜び」が「健康」につながります。

第3水曜日掲載

令和7年9月17日（水曜日）





## 「口」を通し一生に寄り添う

県歯科医師会コラム

歯の長寿学



365

平良和枝

KAZUデンタルクリニック (宮古島市)

皆さんにとって歯科医院はどんな場所でしょうか？

「キーンって音が怖い」「臭いがイヤ」「普段の生活を叱られる」など大人も子どもも歯医者さんに行くのはイヤだな、面倒だなって人は多いですね。確かに、私も患者さんの立場でしたらそうだったかもしれません。

十数年前、糖尿病の専門医、西田亘先生が「生まれ変わったら歯科衛生士になりたい。歯科は患者さんの一生を診ることのできる希有な医療です」と講演で話されていたのが印象的です。

産科、小児科、内科、外科、眼科、耳鼻科と多くの「科」はあれど、年齢・性差や症状に関係なく、歯の生えた乳幼児も、歯がなくなり入れ歯の方も、食べられない状態でも口腔ケアの訪問診療などで歯科はつながります。その

### 人生の相棒

人の一生のライフステージに「お口」を通して関わる他にない仕事だと思えるようになりまして。開業40年近くたつと、親子3代の患者さんも何組かいて、それぞれの家族の歴史を来院を通して垣間見ることもあります。

そして口の中は大変興味深く、面白くもあります。

むし歯・歯周病のリスク、かみづらさや飲み込みづらさ、口腔内の乾燥などの原因はもとより改善・対策・予防へ至るまでの道筋、その全てに「生活習慣」が密接に関わっています。認知症や心臓疾患、がん、早産など口腔と全身との関わりがマスコミに取り上げられ、ご存じの方も多いと思います。

当たり前のよう食べる、話す、表情を作るのは、一つ一つの筋肉の動きとそれぞれの器官（細菌までもが）がバランスを取りながら働いての結果なのです。歯科医師ゆえなのか、小さな口の中のダイナミックスに「宇宙の営み」とすら感じることもあります。

歯科医院を困ったときの「人生の相棒」に位置付けてみてくださいます。医療提供する側の私たちも皆さんの相棒になれるよう、日々研さんを積んでいきます。

第3水曜日掲載

## 全身の病気に影響及ぼす

県歯科医師会コラム

歯の長寿学



366

波平真樹

下地中央歯科医院 (宮古島市)

11月は「歯がんにじゅう月間」です。皆さんは歯周病がどのような病気かご存じでしょうか。

歯周病は、口の中にいる細菌の感染によって引き起こされる炎症性疾患です。歯と歯茎の境目（歯肉溝）の清掃が行き届かないでいると、そこに多くの細菌が停滞し歯茎の周りが炎症を起こして赤くなったり、腫れたりします。痛みはほとんどの場合ありません。さらに進行すると膿が出たり、歯を支えている骨が溶けてしまったり、歯が動揺してきて最終的には歯を抜くことになってしまいます。

また最近では歯周病は単に口の中だけでなく、全身の病気に影響を及ぼすことが分かってきました。ここでは三つの疾患「誤嚥性肺炎」「血管系の病気」「糖尿病」について話します。

### 歯周病と細菌

誤嚥性肺炎は高齢者に多いといわれます。高齢者は食べ物を飲み込む力が弱くなっているため、間違つて食べ物が入り込む場合が多くなり、肺炎を起こす可能性が高くなります。また血管系の病気でも口の中の細菌が血管に入り込み、血管や心臓の病気を引き起こす原因の一つになっています。加えて、血管に入り込んだ細菌が糖をコントロールする働きを阻害し、糖尿病に関与するといわれています。

通常痛みを伴わないので気づきにくい歯周病ですが、分かりやすい症状としてブラッシング時に出血する、口の中がねばねばする、朝起きると口臭が気になる、疲れた時に歯茎の違和感（痛み）などがあります。このような症状がある方はぜひ、かかりつけの歯科医院に相談をお勧めします。歯周病の原因になる口の中の細菌を減らすには、正しいブラッシングと歯科医院での定期的な口腔内清掃が必要です。

宮古地区歯科医師会では沖縄県が推進している「生涯にわたり自分の歯で食べる楽しみを味わい、健やかで豊かな人生を送る」を推奨しています。

第3水曜日掲載

令和7年10月15日（水曜日）

令和7年11月19日（水曜日）



## 地方紙だより

## 論壇



野田直美

県歯科衛生士会は、歯と口の健康（健口）に関する正しい知識を啓発するとともに、虫歯や歯周病などの歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を目的に自治体や企業、病院、歯科クリニックで本人に寄り添った、歯科口腔衛生指導や支援に努めています。

## 歯と口の健康

歯と口の健康はダイアベティス（糖尿病）や低体重児出産など、全身の健康とも密接に関係していることが近年の研究でも明らかになっています。妊娠中

## 衰えや歯周病 全身に影響

の歯周病がそのリスクを高めていることが知られており、出産前からの妊産婦歯科健診の普及も重要です。

虫歯はミュータンス菌などの虫歯菌が原因で起こる感染症です。唾液を介して人から人へ感染することがあります。生まれ

たばかりの赤ちゃんは、口の中に虫歯菌はいませんが食器やスプーンなどの共有や口移しでうつることがあります。しかし感染したからといって、必ずしも虫歯になるわけではありません。適切な口腔内の清潔を保つことで予防が出来ます。また、乳幼児から小学校高学年までは、ご家庭での仕上げ磨き、デンタルフロス、フッ化

物（フッ素入り歯磨き剤）使用を虫歯予防には欠かせない生活習慣として、取り入れることで、親子のスキンシップを育みます。さらに働き盛りの成人期の歯周病が多く、それに比例してその世代の死亡率が全国に比べ高い値となっています。

国民の8割が罹患しているとされる歯周病がダイアベティスと深い関わりがあり、歯周病が改善されるとダイアベティスが改善されるとの相互作用があります。職場における歯科健診（事業所歯科健診）普及も必須の課題です。

また「オーラルフレイル」をご存じでしょうか？ 加齢に伴う口の機能の軽微な衰えのこと

です。①食べこぼしが増える②むせやすくなる③硬いものが食べにくくなる④口が乾きやすい⑤滑舌が悪くなる―など、これらの症状を放置すると全身のフレイル（心身の虚弱）や誤嚥性肺炎のリスクが高まり、要介護状態につながる可能性があるので、早期発見と予防が必要です。適切な予防を行えば健康な状態を維持できます。

定期的な歯科健診・歯のクリーニングを行うことで、生涯自分の歯で食べる楽しみを維持できます。

口の健康と全身はつながっています。「話す」「笑う」「食べる」を保つことで健康寿命を延ばし、豊かな人生を送るお手伝いをします。お気軽に歯科衛生士にご相談ください。

（中城村、県歯科衛生士会会長、55歳）

## 地方紙だより

## 論壇



上原淳

新聞、テレビなどのマスメディアで最近、「笑気麻酔」と銘打った「指定薬物」、すなわち「危険薬物」に関する若者による犯罪の報道が目立ってきた。とりわけ全国的に本県での事例が、突出しているのが気になるところである。これまでも、このような数ある違法薬物を「シヤブ」「チヨコ」「あんぱん」などと、日常的な言葉を隠語にして日常生活の中に浸透してきた。

## 「笑気麻酔」浸透で危惧

今回「笑気麻酔」なる医療用語が使用されていることに違和感があり、交流サイト(SN S)、口コミなど、巧妙な手段で急速に世の中に浸透していくさまに大いなる危機感を抱く。まずは笑気とはどういうものなのか、かいつまんで述べてみたい。笑気とはガス麻酔薬・亜酸化窒素( $N_2O$ )の俗称である。このガス麻酔薬を吸入すると、個人差はあるが全身がフワフワしてうっとりとした気持ちになり、気分がリラックスしてくる。人によっては思わず笑い出すことがあることから、このガスが笑気と称される。ちなみに英語ではLaughing gas、ドイツ語ではLachgasと言われる。

笑気は19世紀から今日に至る長い歴史がある。笑気単独では麻酔作用は緩和で、生体への副作用が極めて低く、安全性が高く、鎮痛作用があつて、今日まで別の麻酔薬と組み合わせ使用されてきた。酸素と混合しての単独使用は、小児の静脈確保、簡単な抜糸などのごく短時間の処置に使用されている。歯科においては、歯科治療で強い緊張を伴う患者、小児歯科治療に、緊張を和らげるため「笑気吸入鎮静法」として日常の診療で使用されてきた。この方法を一部で笑気麻酔と称しているが、あくまでも患者の意識は残した笑気吸入鎮静法であり、確実な局所麻酔を併用した無痛治療法の一つになっている。

一方、話題の「笑気麻酔」と言われる薬物「エトミデート」は静脈麻酔の一つで、脱臼した関節整復等や、全身麻酔導入に欧米で使用されているが、国内では未承認になっている。使用方を誤ると中枢神経障害により意識喪失、呼吸困難、心拍異常、免疫機能低下など、命に関わる危険な状況になる。さらに最近、電子タバコに組み込んだ新しいタイプの麻酔が流行して副作用の危険がより増大してきたといわれる。

指定薬物「エトミデート」が「笑気麻酔」と称して不法に使用されているのは、それらは全く別物でありながらも麻酔薬であり、笑気より安全な麻酔薬であることをカムフラージュにしている可能性がある。誤解を招く恐れがある医療用語を使った巧妙さに大いに危惧している。

(浦添市、県歯科医師会・元日本歯科麻酔学会認定医、83歳)



## 地方紙だより

琉球新報 2025年9月9日

沖縄県における障がい者歯科治療は1975年9月9日、浦添市港川に県歯科医師会館が落成したのと同時に「県口腔衛生センター歯科診療所」を開設し、障がい者の歯科治療と保健指導を目的に診療を開始し、本年度50周年を迎えた。

当時、離島を含む本県では障がいのある方々が適切な歯科医療を受けられる機会は極めて限られていた。その状況を憂いた先達が、施設入所の軽度心身障がい児者を対象に、会員が輪番制で診療を行ったのが原点である。



しかし、重度心身障がい児者の歯科治療は通常の方法では不可能であり、対策に苦慮する日々が続いた。78年には県歯科医師会と県行政が協議を行い、翌

## 論壇

米須 敦子

## 障がい者歯科治療50年目を迎えて

## 健康と尊厳守る使命今後も

年、東京医科歯科大学歯科麻酔学教室の久保田康耶教授の提言を受け、厚生労働省の医師派遣制度を活用して重度心身障がい児者への全身麻酔下歯科治療の導入を決定した。

79年には全国に先駆けて全身麻酔下での治療が始まり、その後、八重山・宮古地区への巡回診療、常勤歯科医師の配置、日帰り全身麻酔治療の実施など、体制は着実に拡充してきた。2014年には南風原町に最新設備を備えた「県口腔保健医療センター」を開所し、専用手術室の整備によって、安全で質の高い治療を提供できる環境を整えた。現在、同センターには年間3千人を超える方々が訪れ、島嶼地域や在宅療養者を含む幅広いニーズに応える体制の構築に努めている。

また、地域協力医研修会による人材育成や「歯科SUN会議」を中心とした医療・福祉・教育の多職種連携も進展し、地域全体で障がい者の口腔健康を支えるネットワークが広がっている。

一方で、麻酔科医や専門医療従事者の不足、離島・遠隔地へのアクセス改善、そしてコロナ禍で一時途絶えた連携の再構築など、解決すべき課題は依然として多い。

しかし、半世紀にわたり培われた経験と信頼を礎に「誰もが口から食べる喜びを享受できる社会」の実現を目指し、体制のさらなる充実と質の向上に努めている。

障がい者歯科治療の50年は決して平坦な道のりではなかった。先達の情熱と尽力に支えられた歴史の重みを胸に刻み、私たちは次の半世紀に向けて新たな歩みを進めていく決意である。県の障がい者歯科治療は今後も地域の実情に寄り添い、より安全で身近な医療として進化を続け、「ノーマライゼーション」を基本に、全ての人の健康と尊厳を守り続けていくことを目指している。県民の皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

(南風原町、県口腔保健医療センター所長、62歳)

琉球新報 令和7年9月9日(火曜日)



## 論壇



崎濱秀海

歯科衛生士という職業を知っている方は多いと思いますが、その役割について詳しく知っている方は少ないと思います。

歯科衛生士の主な業務は、歯垢や歯石の除去、フッ化物の塗布などむし歯や歯周病を予防するための歯科予防処置、歯科治療のアシスタント業務を行う歯科診療補助、子供からお年寄りまで、患者様の年齢やお口の症状に合わせた歯磨き方法や、フロスの仕方を指導する歯科保健指導が三大業務となっています。

### 人材不足の解消へ

いずれも歯科医師の指示のもと行います。

勤務先として、主に歯科医院で働きますが、病院、保健所や市町村の保健センター、介護福祉施設、企業の健康管理室のようないずれでも活躍しています。

そもそも、歯科衛生士の資格は、高校卒業後に歯科衛生士養成機関を卒業し、歯科衛生士国家試験に合格することで取得できます。歯科衛生士養成機関は、専門学校、短期大学、4年生大学などがあり、学ぶ期間は3年以上と定められています。

4年生大学は、修業年限が長いものの、大学を卒業することで学士号を所得でき、学科によっては、社会福祉主事任用資格

### 歯科衛生士の復職を支援

や保育士などさまざまな資格取得が目指せ、また大学院への進学という選択肢が広がります。

毎年3月初旬に国家試験が実施され合格率は90%以上です。更新の必要はなく、生涯有効な資格です。

歯科衛生士の有効求人倍率は高く、23倍以上となっていて全国的に深刻な人材不足が続いています。

この背景には、訪問診療の患者が増えたこと、高齢化による口腔ケアの需要増大、健康志向高まりによる予防歯科の発展、女性が99%を占め、結婚や出産育児での、離職者が多いということも挙げられます。歯科衛生士の免許登録者は約31万人

に対し、実際に就業している方は約14・5万人と半分以上に過ぎません。

沖縄県歯科医師会でも、1975年に歯科衛生士不足の改善を目的とした歯科衛生士学院を設立し、3年制への移行に伴い沖縄県歯科衛生士学校と名称を変え、現代にいたるまで、1889人の卒業生を輩出しています。

沖縄県歯科医師会では、歯科衛生士の人材不足を解消すべく10月26日に沖縄県歯科衛生士学校で歯科衛生士復職支援セミナーを行います。研修内容は口腔内撮影、スケーリング、エアフロー、PMTTC等です。その後、会員の歯科医院で現場実習を行います。参加費無料、先着20人です。

(南風原町、県歯科医師会、歯科医師、51歳)

沖縄タイムス 令和7年10月25日(土曜日)

2025-10-25 沖縄タイムス

**秋のデンタルフェア**

令和7年11月9日(日)  
10:00~14:00(最終受付 13:30)  
サンエー那覇メインプレイス2階  
シネマQ前 オープンモール  
お問い合わせ: (公社)南部地区歯科医師会  
TEL.098-996-4452

**いい歯の日  
歯がんじゅう月間**

令和7年11月8日(土)~16日(日)  
10:30 ~ 13:30  
コープおきなわ各店舗  
8日: なご宮里店 / 9日: こくば店  
15日: 美里店 / 16日: あっぱるタウン店  
お問い合わせ: (一社)沖縄県歯科衛生士会  
TEL.098-996-3573

**歯科技工士人材確保対策事業  
デジタル歯科技工における  
スキルアップセミナー** 実習コース

沖縄ミリングセンター  
(沖縄歯科衛生士学校 1F)  
参加費無料  
各定員10名  
初級: 12/6(土)・7(日)  
中級: 1/10(土)・11(日)  
問い合わせ: (一社)沖縄県歯科医師会  
TEL.098-996-3561

# 11月8日は いい歯の日



日本歯科医師会 PR キャラクター  
よ坊さん(沖縄県)

**定期的な歯科受診で  
健康寿命を延ばそう**

お口の健康は全身の健康と直結する重要な要素です。定期的な歯科受診と予防に努めることで、噛む力を保ち、会話や食事を楽しむだけでなく、誤嚥性肺炎や転倒のリスクを減らし、健康寿命を延ばすことができます。

早期のオーラルフレイルは全身のフレイルやサルコペニア予防にもつながります。退職後の調査でも、「若い頃から定期的に通っていたらよかった」と振り返る方が多いです。今がその第一歩を踏み出す時。ぜひ今日、歯科医院の予約を取りましょう。日頃からの予防と受診をお勧めします。

(一社)沖縄県歯科医師会 会長  
米須敦子



**日本歯科医師会**

Japan Dental Association  
<https://www.jda.or.jp>



**沖縄県歯科医師会**

<https://okisi.org>



琉球新報 令和7年11月8日(土曜日)

# 理事会報告

■ 令和7年度 第4回定時理事会(通算9回) 令和7年8月12日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

## I. 承認事項

1. 令和7年度「薬と健康の週間」の後援名義使用について

## II. 議事事項

- 第1号議案 定款運用規程一部改訂に関する件
- 第2号議案 臨時代議員会追加事項上程に関する件
- 第3号議案 九州地方社会保険医療協議会臨時委員の推薦に関する件
- 第4号議案 日本学校歯科医会「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進委員会」委員派遣に関する件
- 第5号議案 【衛生士学校】物価高に対する食の支援事業に係る助成金申請に関する件
- 第6号議案 販売用印刷物の価格改定に関する件
- 第7号議案 センター歯科医師募集要項に関する件
- 第8号議案 歯科技工士の人材確保対策事業運営委員会の設置に関する件

## III. 協議事項

1. 主体となる役員業務と兼務の業務手当支給について
2. 役員に対する日当及び交通費支給及び兼任に対する手当支給について
3. 常任理事会・理事会の開催の在り方について

## IV. 報告事項

1. 令和7年度第2回沖縄県がん診療連携協議会出席報告
2. 令和8年度特別支援学校むし歯予防モデル事業(案)説明報告
3. なごみ会主催県民健康フェア第2回実行委員会出席報告
4. 第20回障害者歯科アクティブネットワーク九州参加報告
5. 令和7年度沖縄県高齢者福祉対策推進協議会出席報告
6. 令和7年度「専門職の視点から見た災害時外国人支援セミナー」開催周知協力について
7. 「学校歯科医生涯研修制度 令和7年度専門研修」について
8. 令和7年度各国税局(事務所)管内税務指導者協議会の開催について
9. 歯科助手資格認定講習会における動画による講義に関する取扱いについて
10. 「沖縄県血液等曝露後HIV感染予防薬整備事業」の周知について
11. 歯科医療提供体制の偏在に対する調査の実施について
12. 日本歯科医師会代議員会議長及び副議長選挙について
13. 宜野湾市こども医療費助成事業における助成対象年齢の拡大について
14. 令和7年度歯・口の健康普及啓発キャラバン事業開催日程について
15. 令和7年度日歯生涯研修セミナーサテライト実施にかかるお願いについて
16. 令和7年HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業「支援チーム派遣事業」の実施について
17. 歯科診療所の緊急経営調査の実施について
18. 「アシクロビル点滴静注液250mg「トーワ」」出荷停止について
19. 令和6年度診療報酬改定結果検証(令和7年度実施)に係る調査協力について
20. 医療機器の保険適用について
21. 「製品供給に関するお知らせについて
22. 私たちをもっと守る、マイナ保険証(第2弾)」動画のダウンロードサイト周知依頼について



23. 「特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）一部改正に伴う特定保険医療材料料（使用歯科材料料）の算定について」の一部改正について
24. マイナ保険証のスマートフォン搭載への対応について
25. スマートフォンに搭載されたマイナ保険証への対応に係る費用補助等について
26. 第77回九州歯科医学大会の宿泊案内について
27. 委員会
  - ①医療管理・医業経営      ②調査広報      ③社会保険      ④財務厚生
  - ⑤センター7月・8月      ⑥地域保健      ⑦歯科技工士養成所設立準備

## V. その他

1. センター診療実績について
2. センターミーティングについて
3. 会計職員ミーティングについて

## ■ 令和7年度 第5回定時理事会(通算10回) 令和7年8月26日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

### I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員退会（第1種）について
2. 変更届（開設者管理者、会員種別）について
3. 令和7年度沖縄県結核・呼吸器感染症予防週間の後援について
4. 兼業願いについて

### II. 議事事項

- 第1号議案 沖縄県手をつなぐ育成会チャリティーゴルフ大会寄付金及び賞品等寄贈に関する件
- 第2号議案 沖縄県薬物乱用防止協会寄付依頼に関する件
- 第3号議案 沖縄県慢性腎臓病対策協議会委員の推薦に関する件
- 第4号議案 令和7年度第1回沖縄CDE会学習会共催に関する件
- 第5号議案 第16回沖縄県糖尿病週間学術講演会共催に関する件
- 第6号議案 歯科技工士養成所規則案に関する件
- 第7号議案 歯科技工士養成所説明用資料に関する件
- 第8号議案 （一社）沖縄県歯科医師会旅費規程の一部改訂に関する件

### III. 協議事項

1. 歯科医師国保に関する講演依頼について

### IV. 報告事項

1. 令和7年度沖縄県総合防災訓練避難所設置運営訓練会議出席報告
2. アンチ・ドーピング研修会参加報告
3. 令和7年度沖縄県総合防災訓練第二各部会出席報告
4. 第25回医療経営経済実態調査（医療機関等調査）の協力依頼について
5. 令和7年度病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修の開催について
6. 医薬品安全管理責任者が行う従業者に対する医薬品の安全使用のための研修について
7. 「舌圧測定器」の納期について
8. セーフティネット保証5号に係る業況調査（臨時調査）への協力について
9. 「アシクロビル点滴静注液250mg「トーワ」」出荷再開及び出荷継続のお知らせについて
10. 令和7年度日歯生涯研修セミナー（Aチーム・第1回）の開催について
11. 令和7年度琉球大学病院People Living with HIV（PLWH）多職種研修の案内について
12. スマートフォンに搭載されたマイナ保険証への対応に関する補助事業の開始について
13. 委員会

- ①学校歯科            ②医療管理・医業経営            ③学術
- ④衛生士学校

#### V. その他

1. センター診療実績について
2. 令和7年度第1回沖縄県・沖縄県歯科医師会連絡会議に係る議題について
3. コレカラ進路（学校情報検索サイト）の有料掲載について
4. 新入会員オリエンテーション実施について

### ■ 令和7年度 第6回定時理事会(通算11回) 令和7年9月9日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

#### I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会疾病共済金給付申請について
2. 沖縄県歯科医師会死亡共済金給付申請について
3. 沖縄県歯科医師会会員退会（第1種）について

#### II. 議事事項

- 第1号議案 会費減免・減額申請に関する件
- 第2号議案 令和8年秋の叙勲・褒章候補者の推薦に関する件
- 第3号議案 令和7年度沖縄県学校保健功労者表彰推薦に関する件
- 第4号議案 第57回沖縄県公衆衛生大会長表彰候補者推薦に関する件
- 第5号議案 第57回沖縄県公衆衛生大会知事表彰候補者推薦に関する件
- 第6号議案 令和7年度日本歯科医師会会員有功章授賞候補者の推薦に関する件
- 第7号議案 歯科衛生士資格者への手当支給に関する件
- 第8号議案 歯科衛生士学校職員の手当に関する件

#### III. 協議事項

特になし

#### IV. 報告事項

1. 令和7年度8月顧問税理士監査報告
2. 事務局リノベーション打合せ報告
3. 医療施設等物価高騰対策支援事業の実施に係る会員等への周知について
4. 令和7年度自殺者未遂ケア研修「かかりつけ医版」開催について（フライヤー メール・LINE 通知済み）
5. 沖縄県医師会災害医療研修会の開催について
6. 需要急増に伴う限定出荷の連絡について
7. 令和7年度労働衛生コンサルタント試験受験講習会の開催について
8. 医療機器の保険適用について
9. 第25回日本歯科医学会学術大会の登録促進について
10. 歯科法医学（法歯学）に関する卒後教育の実態調査「アンケート回答」協力依頼について
11. 委員会
  - ①地域保健            ②社会保険

#### V. その他

1. センター診療実績について
2. 令和7年度九州各県広報担当者会各県提出協議題について
3. Eシステムの刷新について
4. 論壇について

## ■ 令和7年度 第7回定時理事会(通算12回) 令和7年9月24日(水) 午後8時 口腔保健医療センター

### I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員退会(第1種)について
2. 令和7年度沖縄県臓器移植普及推進月間における後援について
3. 学齢期未処置歯受診勧奨チラシへの歯科医師会HP(歯科医院検索)QRコード掲載について

### II. 議事事項

- 第1号議案 日歯広報「会員モニター」の推薦に関する件  
 第2号議案 地域保健委員会委員の増員に関する件  
 第3号議案 令和8年度センター非常勤歯科医師の契約に関する件

### III. 協議事項

特になし

### IV. 報告事項

1. 令和7年度JDAT標準研修会参加報告
2. 令和7年度JDATアドバンス研修会参加報告
3. 令和7年度第1回沖縄産業保健総合支援センター運営協議会出席報告
4. 令和7年度九州地区学校歯科医役員連絡協議会出席報告
5. 令和7年度歯科技工士人材確保対策事業打合せ報告
6. 社会保険労務士協議報告
7. 保守管理関連報告
8. 令和8年度消費・安全対策交付金(地域での食育の推進)の活用希望について
9. 麻薬管理者及び麻薬研究者の年間報告について
10. 麻薬取扱者免許証の有効期間の周知等について
11. 「全世代向けモデル歯科健康診査等実施事業(薬局等を通じた受診勧奨事業)」の実施について
12. 医療DX推進体制整備加算等の取り扱いについて
13. 医療機関等におけるスマートフォンでのマイナ保険証の利用開始について
14. 医療機関等の窓口におけるスマートフォンでのマイナ保険証への対応に関する疑義解釈資料の送付について
15. 長崎県歯科医師会主催「口腔・栄養・リハビリテーション地域連携研修会」案内について
16. 都道府県歯科医師会のHIV陽性者の歯科医療体制に関する現況調査の依頼について
17. 委員会
  - ①センター
  - ②学校歯科
  - ③衛生士学校
  - ④調査広報
  - ⑤学術

### V. その他

1. センター診療実績について
2. 第39回沖縄県歯科医学会プログラムについて
3. 各委員会次年度事業計画策定及び予算策定について
4. 事務局デスク移動に係る電話・ネットワーク移設費用について
5. 詐欺防止啓発チラシの会員通知同封協力依頼について
6. 令和7年度沖縄県歯科医警察協会の研修会次第について
7. 「首里城の現在(いま)・未来(あす)復興への想い(仮題)」特別紙面企画協賛広告依頼について

## ■ 令和7年度 第8回定時理事会(通算13回) 令和7年10月14日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

### I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員入会(第1種)について



2. 第59回沖縄県母子保健大会の後援依頼について
3. 令和7年度第2回沖縄CDE会講演会共催の依頼について

## II. 議事事項

- 第1号議案 第38回全国小児歯科開業医会全国集会及び総会の後援に関する件
- 第2号議案 令和7年度沖縄県医事功労者知事表彰候補者の推薦に関する件
- 第3号議案 第59回沖縄県母子保健大会における大会長表彰候補者に関する件
- 第4号議案 臨時代議員会開催日に関する件
- 第5号議案 沖縄県かりゆし長寿大学校講義における講師推薦に関する件
- 第6号議案 沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会委員の推薦に関する件

## III. 協議事項

1. 次年度の訪問歯科診療推進事業の内容について
2. デジタル技工物の料金についてのアンケートについて

## IV. 報告事項

1. 令和7年度第1回九州各県歯科医師会専務理事会出席報告
2. 令和7年度全国歯科衛生士教育協議会九州地区会出席報告
3. 令和7年度歯科補てつ物制作過程等の情報提供推進事業の協力依頼について
4. 最低賃金の引上げに関連した支援の拡充について
5. 歯周疾患健診等に用いる沖縄県版歯科健康調査票について
6. 令和7年度歯科技工料調査への協力依頼について
7. 令和7年度小規模県歯科医師会アンケート調査について
8. 「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」の申請期限の延長周知依頼について
9. 医療機器の保険適用について
10. 低濃度PCB廃棄物の適正処理促進に関する研修会について
11. 8020財団 令和8年度歯科保健活動助成事業の募集について
12. 令和8年度8020研究事業の公募について
13. 「医療用医薬品の供給問題への対応に係る行動計画」の策定について
14. 沖縄県成育医療等計画（仮称）素案について
15. 歯科医師国保の説明会実施のお願いについて（回答）
16. 第75回全国学校歯科医協議会（文部科学大臣表彰）について
17. 令和7年度第1回沖縄県医療保険介護連合（なごみ会）幹事会並びに懇談会の開催について
18. 令和7年度共同募金への協力依頼について
19. がん診療医科歯科連携に関するアンケート依頼について
20. 委員会
  - ①社会保険      ②地域保健      ③医療管理・医業経営
  - ④学校教務      ⑤学校関係者評価      ⑥学校歯科

## V. その他

1. センター診療実績について
2. ロッテ「県民の歯と口の健康づくり推進に関する連携協定」の企画について
3. イベント・研修会一覧（年度内）について
4. 事務局・センター職員雇用について

■ 令和7年度 第9回定時理事会(通算14回) 令和7年10月28日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

## I. 承認事項

1. 南部地区歯科医師会デンタルフェア共催について

## 2. 第57回沖縄県公衆衛生大会の開催に伴う後援名義使用承諾依頼について

### II. 議事事項

- 第1号議案 ていんさぐの会こども在宅研究会における講師派遣に関する件
- 第2号議案 沖縄国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦に関する件
- 第3号議案 沖縄県口腔保健医療センター設置自動販売機設置契約書に関する件
- 第4号議案 第59回沖縄県母子保健大会における県知事表彰候補者の推薦に関する件
- 第5号議案 沖縄県周産期保健医療協議会専門部会（周産期医療部会）委員推薦に関する件
- 第6号議案 第43回沖縄県人工透析研究会への協力・募金に関する件

### III. 協議事項

- 1. 沖縄刑務所受刑者30名に対しての保健指導について

### IV. 報告事項

- 1. 第53回日本歯科麻酔学会総会・学術大会出席報告
- 2. 令和7年度歯科医療従事者技術向上支援研修会報告
- 3. 令和7年度九州各県歯科医師会社会保険担当学会議出席報告
- 4. 令和7年度社会保険指導者研修会出席報告
- 5. 令和7年度社会保険情報ネットワーク連絡協議会出席報告
- 6. 令和7年度九州各県歯科医師会医療管理担当学会出席報告
- 7. 令和7年度九州各県歯科医師会医療安全対策担当学会出席報告
- 8. 令和7年度九州各県歯科医師会広報担当学会出席報告
- 9. 令和7年度沖縄県総合防災訓練参加報告
- 10. 令和7年度九州各県歯科医師会事務職員研修会参加報告
- 11. 令和8年度事業障害福祉課打合せ報告
- 12. 財務監査報告
- 13. 広島県四師会協議会 第6回在宅ノウハウ推進研修「在宅医療はワンチームで～呼吸器～」オンデマンド配信について
- 14. 女性の政策・方針決定参画状況等に関する調査等について
- 15. 令和7年度嚥下機能評価研修会～嚥下内視鏡検査実習～の開催について
- 16. 令和7年度生涯研修セミナー（Bチーム・第1回）の開催について
- 17. 国民医療を守るための総決起大会並びに沖縄県医療推進協議会の開催について
- 18. 「災害時外国人支援サポーター養成講座in名護市」開催に伴う周知依頼について
- 19. 「令和7年度九州・沖縄地区 医療安全に関するワークショップ」の開催について
- 20. 委員会
  - ①センター            ②社会保険            ③医療管理・医業経営
  - ④衛生士学校        ⑤学術

### V. その他

- 1. センター診療実績について
- 2. 「国立沖縄自然史博物館」誘致推進県民会議準備会について
- 3. 九州各県災害対策特別委員会の質問・要望事項の回答について
- 4. 令和8年度事業計画・予算について 保険委員会
- 5. 令和8年度事業計画・予算について 学術委員会

■ 令和7年度 第10回定時理事会(通算15回) 令和7年11月11日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

### I. 承認事項

- 1. 沖縄県歯科医師会会員入会（第3種）について

2. 第32回沖縄県民生委員児童委員大会の後援方について

II. 議事事項

- 第1号議案 会費減免・減額申請に関する件
- 第2号議案 沖縄県医療提供体制協議会構成員の推薦に関する件
- 第3号議案 (サンスター) 沖縄県歯科医師会推奨品認定に関する件
- 第4号議案 沖縄県・(株)ロッテ・沖縄県歯科医師会三者連携協定の連携項目に関する件

III. 協議事項

- 1. 全保連学費保証業務契約及び督促状について
- 2. 令和8年度事業計画について

IV. 報告事項

- 1. 第89回全国学校歯科保健研究大会出席報告
- 2. なごみ会県民健康フェア第3回実行委員会出席報告
- 3. 歯科技工士人材確保対策事業第1回運営協議会報告
- 4. 2025年度日本障害者歯科学会第2回社員総会、会員総会出席報告
- 5. セーフティネット保証5号に係る業況調査の協力依頼について
- 6. 令和7年度I H E A T応用研修について
- 7. 医療機器の保険適用について
- 8. 「特定保険医療材料及びその材料価格の一部改正に伴う特定保険医療材料料（使用歯科材料料）の算定について」の一部改正について
- 9. 「歯科における認知症を含む高齢者への在宅医療・介護連携体制の調査検討事業」に関するアンケート協力依頼について
- 10. 公益目的支出計画の変更認可書について
- 11. 労働安全衛生法に基づく歯科医師による健康診断の適法な取り扱いの周知について
- 12. 製品供給に関するお知らせについて
- 13. 委員会
  - ①学校教務

V. その他

- 1. センター診療実績について



## 編集後記

初めまして。調査広報委員会の下所由美子と申します。

多忙な先生方にぜひお伝えしたいのが、タスク管理だけでなく文字おこし議事録・読書ノート・院内マニュアル共有など、多用途で使えるNotion活用術です。先日、「イーロン・マスクも実践」と紹介されていたタイムボクシングをNotionで運用する動画を見て試したところ、次に何をするか迷う“決断疲れ”が減り、業務時間の見える化が想像以上に役立ちました。加えて、議事録のテンプレート化、プロジェクトごとの進捗管理、期限切れタスクの自動仕分けなど、医院運営に必要な情報を一元化できる点も大きな魅力です。私自身、治療・経営・プライベートのすべてをNotionで整理するようになり、仕事の流れが劇的にスムーズになりました。

「りんのすけ Notion」で検索すると、使い方がよくわかる動画に出会えます。ぜひご覧ください。

泉崎ファミリー歯科 院長 下 所 由美子

## 沖縄タイムス「歯の長寿学」 原稿募集について

沖縄県歯科医師会は、月1で沖縄タイムスの「歯の長寿学」欄に会員の先生のコラムを掲載しています。

内容は、歯の健康にまつわる事なら、なんでも構いません。

報酬はありませんが、医院名や先生のお名前は掲載されますので、イメージアップにつながるかと思います。

1. 掲載内容：歯の健康について(分かりやすく中学生が理解できる程度で、面白い内容をお願いします)
2. 文字数：800字
3. 掲載日：第3水曜日
4. 送付先：沖縄県歯科医師会事務局  
・メール：okisi@okisi.org ・Fax：098-996-3562 ・郵送：〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-1
5. 原稿料：なし

\*誠に申し訳ありませんが、原稿の採用および掲載日については、広報委員会に一任頂きたいと思います。

\*同じタイトルや同じような内容の投稿に関しては、掲載されないこともあります。

\*掲載が決まりましたら事前に校正していただくことがございます。

\*ご不明な点がございましたら、事務局または広報委員までお問い合わせください。

## 沖縄県歯科医師会HPについて

沖縄県歯科医師会のホームページ(<http://www.okisi.org/>)では、「歯医者をさがす」のコーナーで、会員の先生方の医院の紹介をしています。内容に誤りや変更がある場合、訂正いたしますので、事務局までご連絡ください。

また、ホームページ全体の改善点やご要望がありましたら、事務局または広報委員まで、ご意見お寄せください。

広報委員：米須 敦子・下所 由美子・張江 昌宏・砂川 和則・本永 昌代・佐久本 圭・松川 拓幹

## 令和7年4号

印刷日：令和7年11月25日

発行日：令和7年11月30日

発行人：(一社)沖縄県歯科医師会

☎098 (996) 3561

<http://www.okisi.org/>

編集人：米 須 敦 子

印刷：(株)ちとせ印刷

E-mail [chitose.f@gamma.ocn.ne.jp](mailto:chitose.f@gamma.ocn.ne.jp)

## 8020達成者認定証の発行について

平素より本会会務運営にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、このたび本会では会員からご推薦いただいた8020達成者に標記の認定証を発行する事といたしました。

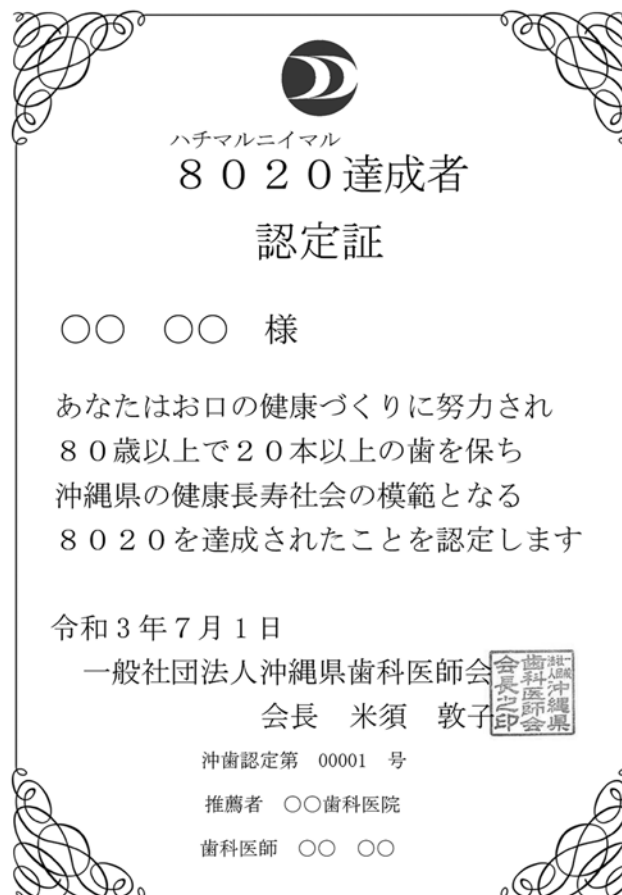
つきましては、該当者がいらっしゃいましたら別添の推薦様式にて、ご推薦いただきたく存じます。

過去に8020表彰を受けていらっしゃる方も認定証という事で改めて対象になります。

認定証は会員診療所に送付いたしますので、会員から達成者にお渡しいただきたく存じます。

会員各位のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

見本



連絡先

沖縄県歯科医師会事務局

TEL : 098-996-3561 FAX : 098-996-3562

## 8020達成者推薦書

沖縄県歯科医師会会長 殿

推薦者

医院名： \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_

令和        年        月        日

以下の通り推薦申し上げます。

8020達成者推薦書		
氏 名	ふりがな	性 別
		男・女
生年月日(年齢)	明・大・昭        年        月        日 (        ) 歳	
ご本人連絡先	住 所	〒 (        -        )
	電話番号	
現 在 歯 数	本	
自 立 状 態 (あてはまるものに○)	① 自力歩行可      ② 介助有りて歩行可      ③ 車いす ④ 外出困難      ⑤ その他 (        )	
補 綴 状 態 (あてはまるものに○)	① 不 要              ② 良 好              ③ 要 改 善	
特 記 事 項		

※県歯事務局へ郵送またはFAXにてご提出ください  
**(FAX : 098-996-3562)**



# 会員動向

会員：令和7年11月30日 現在504人

## 内 訳

種 別	男	女	計
1 種 会 員	295	41	336
2 種 会 員	17	6	23
3 種 会 員	35	27	62
4 種 会 員	2	0	2
終 身 会 員	71	10	81
計	420	84	504

## 入・退会状況（1種・2種・終身）（正会員）

種 別	男	女	計
入 会 者	1	0	1
退 会 者	2	1	3
計	-1	-1	-2

## 正会員地区別

地 区	男	女	計
北 部 地 区	24	1	25
中 部 地 区	117	16	133
南 部 地 区	216	33	249
宮 古 地 区	15	7	22
八 重 山 地 区	14	0	14
計	386	57	443

## 入・退会状況（3種・4種準会員）

種 別	男	女	計
入 会 者	0	1	1
退 会 者	0	0	0
計	0	1	1

## 正会員動静（新入会員 1 名）

氏 名	生年月日	医 院 名	就業所所在地	出 身 校	卒業年月	会員種別	入会日
上運天 智	S35.6.1	上運天歯科矯正歯科	嘉手納町字嘉手納290-4 2F	鹿児島大学歯学部	S54.3	1種会員	R7.10.1

## 準会員動静（新入会員 1 名）

氏 名	生年月日	医 院 名	就業所所在地	出 身 校	卒業年月	会員種別	入会日
當 眞 優 子	S46.2.9	三愛歯科医院	浦添市勢理客1-2-28	神奈川歯科大学	H7.3	3種会員	R7.10.1



## 保健事業の補助について

スタッフの方々にも御周知を賜りますようよろしくお願い致します。

申請には申請書と領収書の原本が必要となります。

\*保険を使用しての受診は対象外です。

人間ドック ・ 健康診断	<b>【支給額】</b> 1種、2種及びその配偶者20,000円（上限） 3種組合員8,000円（上限） 後期高齢者の1種組合員とその配偶者は対象外 <b>【申請期限】</b> <u>令和8年3月20日必着</u> ※申請期限に間に合うよう受診日にご注意ください。		
節目健診  ※申請書はホームページからもダウンロード可能 （様式43号）	<b>【支給額】</b> 本部補助30,000円まで（後期高齢の1種組合員は本部補助のみ対象） 支部補助20,000円（3種組合員は10,000円まで） 1種・2種組合員及び1種組合員の配偶者の最高限度額50,000円まで 3種組合員の最高限度額40,000円まで（但し1回の申請に限る） <b>【申請期限】</b> <u>令和8年3月20日</u> 節目健診は、全国歯本部補助に支部補助金額を上乗せしております。支部は、年度内の事業となるため3月20日を過ぎて申請しますと、支部からの上乗せ補助分が受けられませんのでご注意ください。 <b>【対象者】</b> (1) 本年度中に30歳以上の5歳ごとの節目の年齢に達する1種組合員と2種組合員 (2) (1)で対象になった1種組合員の被保険者である配偶者（年齢問わず） (3) 本年度中に20歳以上の5歳ごとの節目の年齢に達する3種組合員 (4) 本年度中に75歳以上の5歳ごとの節目の年齢に達する後期高齢者の1種組合員及びその配偶者		
がん検診  ※申請書はホームページからもダウンロード可能 （様式63号）	<b>【がん検診の種類】</b>	<b>【対象者】</b>	<b>【限度額】</b>
	胃がん1（胃内視鏡検査）	50歳以上	8,900円
	胃がん2（胃部X線検査）	40歳以上	6,400円
	子宮頸がん（視診、子宮頸部の細胞診及び内診）	20歳以上	3,400円
	肺がん1（胸部X線検査）	40歳以上	1,800円
	肺がん2（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	40歳以上	3,100円
	乳がん（乳房X線検査or視触診及び乳房X線検査）	40歳以上	4,200円
	大腸がん（便潜血検査）	40歳以上	1,300円
	※人間ドックなどの総合健診の場合は、がん検診の種類・金額の内訳がわかる書類が必要です。		

注）申請期限を過ぎた際は受付【支払】いたしませんのでご留意下さい。

※スタッフの方へ個別で各種補助金申請書を送付しておりませんのでお手数ですが、不足分等につきましては、コピーしてご利用下さい。

### ～特定健診受診券で1,000円分QUOカードを進呈～

特定健康診査を受診された方に1,000円分QUOカードを進呈しております

特定健診対象者（40歳～70歳）の方は受診券を忘れずにご持参の上、健康診断をご受診下さいますようよろしくお願い致します。

紛失された方は再発行が可能です。支部事務所までご連絡ください。（098-889-2288）

<p style="text-align: center;"><b>歯科健診</b></p> <p>※申請書はホームページからもダウンロード可能</p>	<p><b>★歯科健診実施ご協力のお願い</b></p> <p>◆院長の皆様へ◆</p> <p>歯科疾患を早期に発見し予防等に努め、全身の健康保持増進をはかることを目的としております。どうかご協力お願いします。</p> <p>【支給額】 歯科健診に係る歯科健診文書料及び指導料は、支部事務所より受診者1名につき1,000円（実施期間内1回限り）を実施医療機関へ支給します。</p> <p>【対象者】 1・2・3種組合員、後期高齢者の1種組合員及び組合員に属する世帯員（健診時18歳以上の者） （1種組合員、後期高齢者の1種組合員は問診用紙の記入を受診とみなします）</p> <p>【受診期間】 令和7年4月1日～令和8年2月末日</p> <p>【申請期限】 令和8年3月31日</p> <p>【実施場所】 1種組合員の家族は自家の診療所 2・3種組合員及び2・3種組合員の家族は雇用されている1種組合員の診療所</p> <p>●申請手続きに必要な書類●</p> <p><input type="checkbox"/>『問診用紙』</p> <p><input type="checkbox"/>『歯科健診票（組合提出用）』</p>
<p style="text-align: center;"><b>インフルエンザ予防接種</b></p> <p>※申請書はホームページからもダウンロード可能（様式47号）</p>	<p>【支給額】 4,000円を限度に支給（年度ごと1名につき） 13歳未満は1名につき、6,000円を限度に支給（2回接種の場合、2回分の領収書合算額から限度額内）</p> <p>【申請期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日 ※支部必着</p> <p>●申請手続きに必要な書類●</p> <p><input type="checkbox"/>インフルエンザ予防接種補助金申請書</p> <p><input type="checkbox"/>領収書（予防接種日、医療機関名、医療機関印、予防接種受診者名、インフルエンザの予防接種であることが明記されたもの）</p>
<p style="text-align: center;"><b>新型コロナウイルス 予防接種</b></p> <p>※申請書はホームページからもダウンロード可能（様式65号）</p>	<p>新型コロナウイルスワクチン接種を受けた場合、申請により費用の一部を支給します。</p> <p>【対象者】 生後6ヶ月以上の被保険者及び後期高齢者の1種組合員</p> <p>【支給額】 年度ごと1名につき1回の接種に対し5,000円を限度</p> <p>◎実施期間内に複数接種を受けた場合でも、1回の接種のみ申請可能性とする</p> <p>◎他制度（市町村等）により補助を受けることができる場合はその補助を優先とし、自費負担が発生した場合に限度額まで支給します。</p> <p>【実施期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日まで</p> <p>【申請期限】 令和8年3月31日までに支部事務所必着</p> <p>●申請手続きに必要な書類●</p> <p><input type="checkbox"/>新型コロナウイルスワクチン接種補助金申請</p> <p><input type="checkbox"/>領収書（接種日、医療機関名及び印、接種者名、新型コロナウイルスワクチンであることが明記されたもの）</p>



重 要 性 分 類 III  
事 務 連 絡  
令 和 7 年 2 月 19 日

沖縄県歯科医師会 御中

社会保険診療報酬支払基金  
沖縄審査委員会事務局

資  
料

### 令和 7 年度における診療報酬の支払日について

平素は支払基金の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和 7 年度における診療報酬の支払日については、別紙のとおり予定していますので連絡いたします。

なお、貴会傘下の保険医療機関には、請求形態（オンライン又は媒体・紙レセプト等）に応じて、「支払基金からのご案内」3月号をオンライン請求システムに掲載、又は令和 7 年 3 月（1 月診療分）の返戻レセプト等に併せて送付することによりお知らせいたしますので、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ先

社会保険診療報酬支払基金

沖縄審査委員会事務局

業務課：謝花 TEL 098-914-3905

令和7年度における診療報酬の支払予定日

納入月 ・ 支払月	診療報酬	
	保険者から基金への 納入期日	基金から医療機関への 支払日
令和7年 4月	4月21日(月)	4月22日(火)
5月	5月20日(火)	5月21日(水)
6月	6月19日(木)	6月20日(金)
7月	7月18日(金)	7月22日(火)
8月	8月20日(水)	8月21日(木)
9月	9月19日(金)	9月22日(月)
10月	10月20日(月)	10月21日(火)
11月	11月20日(木)	11月21日(金)
12月	12月19日(金)	12月22日(月)
令和8年 1月	1月20日(火)	1月21日(水)
2月	2月19日(木)	2月20日(金)
3月	3月19日(木)	3月23日(月)

沖国保連第 1342・2 号  
令和 7 年 2 月 13 日

保険医療機関（保険薬局） 各位

沖縄県国民健康保険団体連合会  
事務局長 大 城 博 之  
（ 公 印 省 略 ）

令和 7 年度のレセプト提出締切日及び診療報酬支払日について

本会の診療報酬審査支払業務につきましては、平素より格別なる御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、みだしのことについては、請求省令により提出日は『診療翌月の 10 日まで』と規定されており、本会では審査支払業務を円滑に実施するため受付協力日及び支払日を別紙のとおりといたしました。

つきましては、受付日程への御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※本会ホームページへも掲示いたしておりますのでご確認ください。

ホームページアドレス 「<http://www.okikoku.or.jp/>」

お問合せ先

沖縄県国民健康保険団体連合会 審査課

TEL：098-863-2473



## 別紙

## 令和7年度 レセプト提出締切日及び診療報酬支払日（国保）

	レセプト受付 協力日	レセプト受付 締切日	診療報酬等の支払日
令和7年4月	9日（水）	10日（木）	21日（月）
令和7年5月	9日（金）	10日（土） *開所	20日（火）
令和7年6月	9日（月）	10日（火）	20日（金）
令和7年7月	9日（水）	10日（木）	22日（火）
令和7年8月	8日（金）	10日（日） *開所	20日（水）
令和7年9月	9日（火）	10日（水）	22日（月）
令和7年10月	9日（木）	10日（金）	20日（月）
令和7年11月	7日（金）	10日（月）	20日（木）
令和7年12月	9日（火）	10日（水）	22日（月）
令和8年1月	9日（金）	10日（土） *開所	20日（火）
令和8年2月	9日（月）	10日（火）	20日（金）
令和8年3月	9日（月）	10日（火）	23日（月）

※ レセプトの受付締切は、10日（必着）です。（請求省令により毎月10日までと定められております）

※ 受付窓口は、午前9時から午後5時までとなります。

※ 12月は早期提出にご協力お願いいたします。

※ 令和7年8月9日（土）、11月8日（土）、11月9日（日）は、  
開所となりますのでご注意ください。

郵便等により送付される場合は、  
安全確実な方法にて毎月1日～10日  
必着でお願いいたします。

お問合せ先  
沖縄県国民健康保険団体連合会  
TEL 098-863-2473（審査課）

沖縄県の  
健康長寿**復活**に向けて



毎月

歯ブラシの日

8

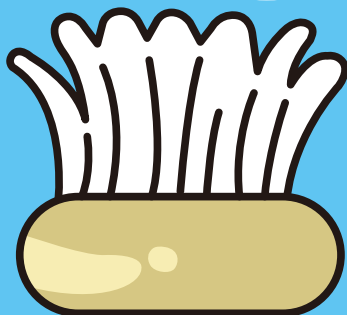


日は

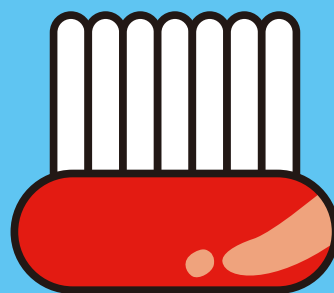
沖縄県歯科医師会制定

歯ブラシの日

Bad



Good



日本歯科医師会PRキャラクター よ坊さん(沖縄県)



(一社)沖縄県歯科医師会

TEL 098-996-3561